

まちづくり報告書

（令和6年度分）

令和7年11月
企画調整課

- ◆令和7年11月時点で取得できない指標は、空欄又は暫定値となっています。
- ◆「対基準値」「対前年度」「目標達成度」の各マークは、単に指標実績値のみによるのではなく、主管課が総合的に判断し選択している場合があります。

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01	安全な水道水の安定供給	3
施策 02	汚水処理の推進	7
施策 03	秩序ある市域の整備	11
施策 04	公共交通の充実	15
施策 05	道路・河川・水路の整備と保全	17

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01	環境保全と脱炭素社会の促進	21
-------	---------------	----

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01	農業の振興	25
施策 02	地域に活力をもたらす産業・雇用の創出	29
施策 03	観光の振興	33

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01	子育て支援の充実	37
施策 02	健康づくりの推進	41
施策 03	高齢者福祉の充実	45
施策 04	障害者（児）福祉の充実	49
施策 05	セーフティネットの推進	51
施策 06	地域福祉の推進	53

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01	学校教育の充実	55
施策 02	生涯学習・スポーツの推進	61
施策 03	男女共同参画社会の推進	65
施策 04	人権尊重と同和教育の推進	69

政策 06 安心で安全に暮らせるまちづくり

施策 01	防災・減災対策の推進	71
施策 02	安全な暮らしの推進	75
施策 03	消防・救急・救助体制の整備充実	79

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01	市民協働の推進	83
施策 02	デジタル化の推進	87
施策 03	積極的な広報・広聴の展開	91
施策 04	持続可能な行政経営	93
施策 05	持続可能な財政運営	97
施策 06	市民から信頼される職員・組織づくり	101

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 01 安全な水道水の安定供給

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	上水道普及率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	80.7	79.3	79.1	84	☂ (低下)
評価	(状況) 減少となった。 (原因) 核家族化の推進等により1世帯あたりの人員(人口数/世帯数)の減少に伴い、給水人口が減ったため、上水道普及率としても減となっている。	(％) 				対 前年度
						☂ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 管網の整備

指標	給水戸数（戸）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	16,631	16,976	17,080	17,119	☀ (向上)
評価	(戸)					対 前年度 ☁ (横ばい)
	(状況) 前年度比104戸増である。 (原因) 給水人口は272人減だが、給水戸数は104戸増である。 人口に対しての戸数の増が大きいのは、核家族化の進行に伴う 1世帯あたりの世帯人員(人口数/世帯数)の減少及び集合住 宅の増加が主な原因と考えられる。					目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業01 管網の整備

指標	管整備延長（m）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	252,469	261,784	261,088	259,900	☂ (低下)
評価	(m)					対 前年度 ☂ (低下)
	(状況) 前年度比696m減少した。 (原因) 老朽管更新事業(山ノ井地区)に伴い、既設管を撤去 した為、一時的に減少している。次年度以降は増加する予定で ある。					目 標 達 成 度 ■■ (中)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	浄水・配水施設の維持管理上のトラブル数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(件)					対 前年度 ☀ (向上)
	(状況) 施設のトラブルはなかった。 (原因) 良好な維持管理を行い、安定供給ができています。					目 標 達 成 度 ☀ (達成)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	有収率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	90.8	91.88	92.05	94.4	☁ (横ばい)
評価	(％)					対 前年度 ☁ (横ばい)
	(状況) 前年度より若干向上している (原因) 配水管の老朽管更新事業を継続して推進し、漏水事故 を未然に防止していく必要がある。					目 標 達 成 度 ■■ (低)

基本事業02 浄水・配水施設の維持管理

指標	水質基準適合率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	100	100	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 水質基準適合率は100%である。 (原因) 良好な水質管理ができています。	(％) 				☀ (向上) 目標達成度 ☀ (達成)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	経常収支比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	126.5	113.79	116.25	117	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度比2.46ポイント増である。 (原因) 施設更新により修繕費の減となった。また、給水収益も増となっている。	(％) 				☀ (向上) 目標達成度 ☔ (高)

基本事業03 健全な上水道経営の推進

指標	給水原価（円/m3）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	141.7	162.65	159.39	173.3以下	☔ (低下)
評価	(状況) 昨年度比3.26ポイント減である。 (原因) 施設更新により修繕費の減となる。また、有収水量も増加し、給水原価が改善している。	(円/m3) 				☀ (向上) 目標達成度 ☀ (達成)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 02 汚水処理の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	汚水処理人口普及率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	77.8	79.4	80.4	81.8	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.0ポイント増。目標達成率98%。 (原因) 下水道整備面積の増加に伴い下水道処理区域内人口が408人増加したのに対し、合併処理浄化槽使用人口は94人減少したものの、汚水処理人口としては314人増加となった。	(％) 				☁ (横ばい)
						目標 達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道整備進捗率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	64.8	65.7	66.8	71.2	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.1ポイント増 (原因) 令和5年度に幹線整備を実施したことで、令和6年度は枝線整備となり、整備面積は順調に広がっている。					対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)
		<p>(%)</p> <p>80 60 40 20 0</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				

基本事業01 公共下水道の整備推進

指標	下水道接続率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	74.7	79.5	78.9	81.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比0.6ポイント減。目標達成度97.4%。 (原因) 処理区域内人口は408人増、下水道接続人口は202人増となり、処理区域内人口の増分に比べ下水道接続人口の増分が少なかったことで前年度比0.6ポイント減となった。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 🏰 (高)
		<p>(%)</p> <p>100 80 60 40 20 0</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				

基本事業02 合併処理浄化槽による汚水処理の推進

指標	下水道供用開始区域外の浄化槽処理人口普及率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	63.8	66.1	67.2	68.9	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.1ポイント増 (原因) 新築の増加に伴い合併処理浄化槽設置個数も増加し、浄化槽使用人口が増加している。					対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)
		<p>(%)</p> <p>80 60 40 20 0</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				

基本事業03 汚水処理施設の維持管理

指標	下水道施設の維持管理上のトラブル件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 維持管理のトラブルは発生していない。 (原因) 計画的な維持管理により、トラブルは発生していない。					対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)
		<p>(件)</p> <p>0</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	経常収支比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	117.9	122.8	121.5	120.3	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比1.3ポイント減。 (原因) 使用料収入や一般会計繰入金の減少により経常収益が3,200万円減少、流域下水道維持管理負担金や支払利息の減少により経常費用が2,800万円減少した。 経常収益の減少幅が経常費用の減少幅より大きかったことにより前年度より1.3ポイント減となった。	(％) 				対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業04 健全な下水道経営の推進

指標	汚水処理原価（円/m3）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【上下水道課】	256.2	238.3	242.2	250.4	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比3.9円増。 (原因) 前年度より汚水処理費が420万円減少、年間有収水量が45,104?減少したことが要因。	(円/m3) 				対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 🏰 (達成)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 03 秩序ある市域の整備

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	住宅、店舗、工場、公園などが計画的に開発・配置されている（乱開発されていない）と思う市民の割合（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		56.7	58.4	60.5	68.3	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比2.1ポイント増加し向上した。 (原因) 筑後、羽犬塚、二川、西牟田校区のポイントが前年度から向上している。宅地造成や周辺の道路整備などの開発が適切に進んでいることが要因と考えられる。	(％) 				☀ (向上)
						目標 達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	全建築申請中に占める都市計画用途地域内の申請割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	28.4	26.0	26.8	41.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比0.8ポイント向上したが、目標としては低下した。 (原因) 用途地域の周辺に宅地化が進んでいることが要因と考えられる。					☀ (向上) 目標 達成度 ■■■ (低)
						対 前年度

基本事業01 計画的な土地利用と市街地整備の充実

指標	都市計画用途地域内農地率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	15.7	14.2	14.0	15.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度比0.2ポイント減少し向上した。 (原因) 目標を達成した。 用途地域内の土地において都市的利用の鈍化、都市化が飽和に近づいている。					☀ (向上) 目標 達成度 ■■■ (達成)
						対 前年度

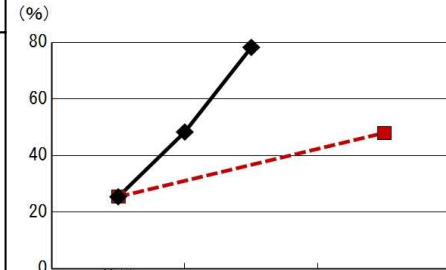
基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	市民1人当たり公園面積（㎡/人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	16.3	16.3	16.3	27.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) R5と変化が無い。 (原因) R5からR6にかけて、新規の公園整備は行われていない。					☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (中)
						対 前年度

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園の量・施設に満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	83.3	86.5	84.1	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) R5の86.5%から2.4ポイント減少し、84.1%となった。 (原因) 長寿命化計画に基づき、遊具を更新した公園と、維持管理のみ実施している公園との格差が生じていることが影響したと考えられる。					☂ (低下) 目標 達成度 ■■■ (中)
						対 前年度

基本事業02 公園の整備・維持管理

指標	公園遊戯施設の機能に関する総合判定結果が健全である割合（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		25.4	48.3	78.2	48.0	☀ (向上)
評価	(状況) R5の48.3%から29.9ポイント増加し、78.2%となった。 (原因) 公園長寿命化計画に基づく施設の更新や公園遊具危険度判定の結果を踏まえ、施設の修繕を行った結果である。	(％) 				対 前年度
						☀ (向上) 目標 達成度 ■■■ (高)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 04 公共交通の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	鉄道に満足している市民の割合（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		80.0	69.4	68.2	83.4	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比1.2ポイント減少し低下した。 (原因) コロナ禍の収束に伴い、駅利用者は増加しており、R6.3月にJR九州春ダイヤ改正により一部ダイヤ改善などが実施されたものの、R4.9月のJR九州による大幅なダイヤ改正が大きく影響していると考えられる。	(％) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

指標	路線バス、タクシー、コミュニティ自動車に満足している市民の割合（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		74.9	68.7	61.5	67.2	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比7.2ポイント減少し低下した。 (原因) 市内タクシー事業者が3社から2社へ減ったことが利便性の低下に繋がり、満足度に大きく影響していると考えられる。	(％) 				対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 鉄道利用環境の充実

指標	JR在来線3駅の1日乗降客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	6,454	7,499	7,647	6,510	(横ばい)
評価	(状況) R5とR6の実績値を比較し148人増加した。 (原因) ダイヤ等がコロナ禍以前までの改善がなされていないため、乗降客数は回復傾向だが、コロナ前までの水準に回復していないと考えられる。					(対前年度) (向上) 目標達成度 (高)

基本事業01 鉄道利用環境の充実

指標	JR新幹線筑後船小屋駅の1日乗降客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	794	1,059	1,099	1,069	(横ばい)
評価	(状況) R5とR6の実績値を比較し40人増加した。 (原因) R6.3月のダイヤ改正により一部改善をされたことにより、JR新幹線船小屋駅の乗降客数はコロナ前までの水準に回復していると考えられる。今後の利用者の動向を見極める必要がある。					(対前年度) (向上) 目標達成度 (達成)

基本事業02 生活交通の充実

指標	市内移動の交通手段に困っている市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	13.6	15.5	18.4	16.5	(低下)
評価	(状況) 前年度比2.9ポイント増加し減少した。 (原因) 市内タクシー事業者が3社から2社へ減ったことが利便性の低下に繋がり、数値に大きく影響していると考えられる。					(対前年度) (低下) 目標達成度 (高)

基本事業02 生活交通の充実

指標	市内を運行する路線バス及びコミュニティ自動車の路線数（本）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【都市対策課】	19	21	25	23	(向上)
評価	(状況) 路線バスは現状維持。コミュニティ自動車は古川校区がR6から運行を開始。また、新たに循環バスの運行をR6.10月より開始。 (路線バス6本、コミュニティ自動車17本、循環バス2本) (原因) R6年度より古川校区のコミュニティ自動車が運行したほか、羽犬塚駅周辺循環バスが運行を開始した。					(対前年度) (向上) 目標達成度 (達成)

政策 01 快適に暮らせるまちづくり

施策 05 道路、河川・水路の整備と保全

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	幹線道路に満足している市民の割合（％） 【道路課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		83.5	82.6	82.9	83.5	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度82.6%から0.3ポイント増となり向上した。 (原因) 県道久留米筑後線バイパスの供用開始や県道水田大川線の道路 拡幅、歩道整備などにより満足度が向上したと考えられる。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■■ (高)
指標	生活道路に満足している市民の割合（％） 【道路課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		74.6	72.4	72.5	74.6	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度72.4%から0.1ポイント増加となり、昨年に引き続き向上 したが目標値は達成できなかった。 (原因) 目標値は達成できなかったが、直営班での道路パトロールによ る穴埋めなどの早期対応や側溝新設による雨水排水対策を実施 したことにより昨年度より指標が向上したと考えられる。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■■ (高)
指標	河川・水路に満足している市民の割合（％） 【水路課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		77.3	78.9	81.7	80.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度78.9%から2.8ポイント増となり、向上した。 (原因) 大雨時の浸水被害を軽減するために水路の先行排水の 取り組みや、緊急浚渫推進事業等の実施により、令和6年度は大 きな被害が発生しなかったことから、満足度が上がったものと 考えられる。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 幹線道路の整備促進

指標	幹線道路整備延長 累計 (km)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【道路課】	6.1	9.6	10.1	11.1	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度2.2km/年から1.7km減少の0.5km/年となった。年間目標1.0km/年を下回った。 (原因) 前年度に県事業の大規模なバイパス整備が完了し今年度は整備延長が鈍化したが、目標値には近づいている。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業02 生活道路の整備推進と維持管理

指標	生活道路改良・補修延長 累計 (km)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【道路課】	42.6	63.0	71.8	77.6	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度9.6km/年から0.8km減少の8.8km/年と低下したものの、年間目標7.0km/年を達成した。 (原因) 年間の整備目標は達成したが、道路改良工事を令和6年度へ繰越したことにより、前年度より整備延長が低下した。					☀ (向上)
						☀ (向上)


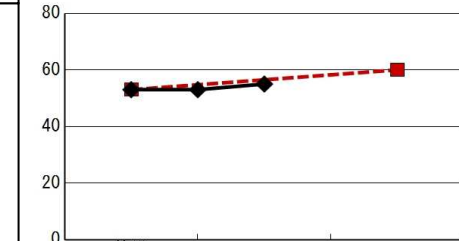


基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路などの機能整備要望への対応率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【水路課】	75.3	79.8	80.3	75.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から0.5ポイント向上し、目標値を達成した。 (原因) 河川・水路に関する多種多様な要望に対し、地域と協議・協力しながら実施したため、対応率の向上に繋がった。					☀ (向上)
						☀ (向上)


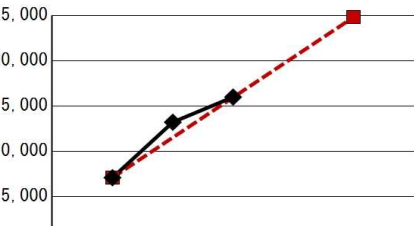

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	浸水・冠水件数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【水路課】	4	54	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度の54件に対してR6年度は0件となった。 (原因) 特別警報級の豪雨が発生しなかったことに加え、河川や水路の緊急浚渫事業の実施及び、積極的な先行排水の取り組みの効果により被害軽減が図られたと考えられる。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

指標	河川・水路等の工事件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値																									
	【水路課】	53	53	55	60	 (横ばい)																									
評価	（状況）前年度の53件に対し、令和6年度は55件となり、2件増となった。	<div>(件)</div>  <table><caption>河川・水路等の工事件数 (件)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R05)</th><th>実績値 (R06)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>53</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td></td><td>53</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R06</td><td></td><td></td><td>55</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td><td></td><td></td><td>60</td></tr></tbody></table>				年度	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	基準	53				R05		53			R06			55		R08				60	対 前年度
	年度					基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)																						
基準	53																														
R05		53																													
R06			55																												
R08				60																											
	（原因）目標値60件を達成するため、各事業において年次計画により施工しているが、前年度から微増となった。					 (横ばい)																									
						目 標 達 成 度  (高)																									

基本事業03 河川・水路の整備推進と維持管理

河川・水路等の浚渫土量＜累計＞（m3）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値																									
指標	【水路課】	7,066	13,193	15,969	24,800	 (横ばい)																									
評価	（状況）本年度量2776m3、累計で15969m3となった。	<div>(m3)</div>  <table><caption>河川・水路等の浚渫土量 (m3)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R05)</th><th>実績値 (R06)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>7,066</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R05</td><td></td><td>13,193</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R06</td><td></td><td></td><td>15,969</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td><td></td><td></td><td>24,800</td></tr></tbody></table>				年度	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	基準	7,066				R05		13,193			R06			15,969		R08				24,800	対 前年度
	年度					基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)																						
基準	7,066																														
R05		13,193																													
R06			15,969																												
R08				24,800																											
	（原因）緊急浚渫推進事業等により計画的に進めている。					 (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■■ (高)																									

政策 02 環境が守られたまちづくり

施策 01 環境保全と脱炭素社会の促進


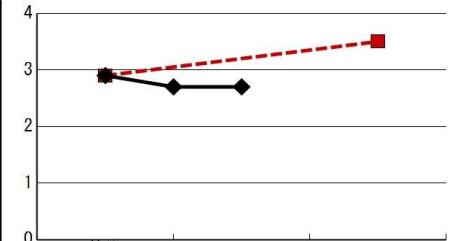


あるべき姿

施策の成果状況と評価


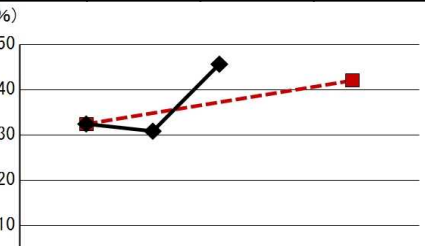


指標	市民1日1人当たりの家庭系ごみの排出量（資源除く）（g） 【かんきょう課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		493.5	473.2	459.1	472.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より、14.1g 減少 (3.0%)。R8年度の目標値をクリア。 (原因) 可燃 8,096,900kg (3.4%)。昨年度から物価高騰が続き、その影響により、さらに消費支出が減少したと考えられる。					☀ (向上) 目標達成度 ☀ (達成)
指標	生活環境に関する苦情解決率（過去3年平均）（%） 【かんきょう課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		93.6	81.3	80.1	95.0	☔ (低下)
評価	(状況) R04 93件/12件 83.0% R05 55件/83件 66.3% R06 52件/56件 92.9% 計 251件/201件 80.1% (原因) R6単年度の苦情解決率は改善したが、R5の雑草苦情の解決率が低下が大きく影響し、全体の指標は低調となっている。					☔ (低下) 目標達成度 ☔ (低)
指標	脱炭素社会のための環境にやさしい取組を行っている市民の割合（%） 【かんきょう課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		34.2	37.2	40.9	40.0	☀ (向上)
評価	(状況) 216人/528人 = 40.9% 昨年度より3.7%上昇 (原因) 割合が上昇した上位3項目：再生可能エネルギー（太陽光、風力等）を利用・購入している（4.8%）、蛇口をこまめに止める、節水型洗濯機等の利用による節水（3.6%）、家族が同じ部屋で過ごし、冷暖房と照明を減らしている（3.3%）					☀ (向上) 目標達成度 ☀ (達成)

基本事業の成果状況と評価


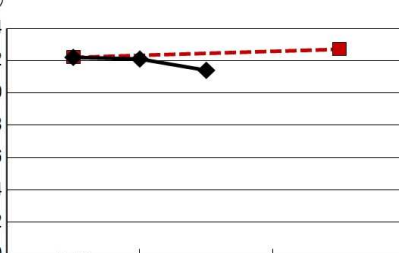


基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

指標	減量化に関する実践項目数(7項目中)(項目)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	2.9	2.7	2.7	3.5	 (横ばい)
評価	(状況) 1439項目/528 = 2.7 (原因) 「購入した食材は使い切って廃棄しないようにしている」(1.8%)の割合が上昇。「生ごみ処理機やコンポストの利用(ごみ減量化)」(1.8%)や「詰替商品の積極購入」(4.6%)の割合が低下。結果、昨年から横ばいとなった。	(項目)				対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達 成 度
						 (高)


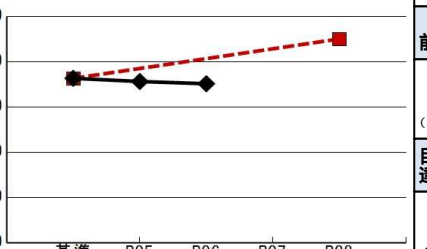


基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

リユースを意識して行動している市民の割合（％）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
指 標	【かんきょう課】	32.4	30.81	45.6	42.0	 (向上)
						対 前年度
評 価	(状況) 241人/528人 = 45.64% (原因) 全5項目中、4項目で低下。割合が低下した上位3項目： リサイクルショップの利用（買取も含む）（ 2.5％） その他で中古品の購入、又は売却（ 2.1％） その他で中古品等を譲渡、又は譲り受ける（ 2.5％）					 (向上)
						目 標 達 成 度
						 (達成)

基本事業01 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進

資源化（リサイクル）率（％）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値	
指標	【かんきょう課】	12.2	12.1	11.4	12.7	 (低下)	
		(％)					対 前年度
評価	(状況) 0.7%低下している。 (原因) 全体的にごみの総量が 4.0%減少し、資源ごみの総量自体も 8.9%減少している。						 (低下)
							目 標 達 成 度
							 (低)

基本事業02 脱炭素社会の促進

指標	脱炭素社会のため実効性の高い環境負荷低減に取り組んでいる事業者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	36.3	35.6	35.1	45.0	 (低下)
評価	（状況）35.1％ 昨年度より0.5％低下 （原因）割合が低下した上位3項目：省エネ を考慮した冷暖房温度（冷房28、暖房20 ）の設定（ 16.0％）、自主製品の回収・リサイクル（ 14.4％）、両面コピー・両面 印刷の徹底（ 8.4％）					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達 成 度
						 (低)

基本事業03 生活環境の改善

指標	空地に関する苦情解決率（過去3年平均）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	85.8	66.4	69.1	85.8	☂ (低下)
評価	(状況) R04 42件 / 58件 72.4% R05 23件 / 40件 57.5% R06 27件 / 35件 77.1% 計 92件 / 133件 69.1% (原因) R5年度とR6年度を比較すると、改善傾向にある。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 生活環境の改善

指標	ペット、野焼き、騒音、悪臭等に関する苦情件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	93	44	29	80	☀ (向上)
評価	(状況) ペット 1件 悪臭 4件 野焼き 16件 水質 2件 騒音 5件 その他 1件 合計 29件 (原因) 減少した上位3項目（その他以外）： ペット 5件 水質 4件 野焼き 2件					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業03 生活環境の改善


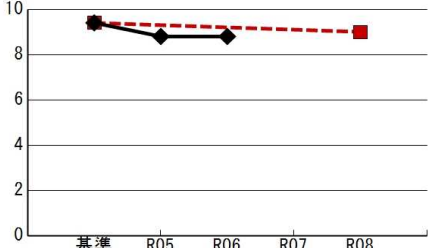


指標	一般廃棄物が不法投棄されている場所の数（箇所）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【かんきょう課】	23	30	26	21	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より13.3%減。 (原因) 通報件数の減少による。 周知や防犯により改善が見込まれるものが多い。上位3種：自転車16件（盗難も含む）、廃家電：9件、その他（タイヤ・家具類）5件。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (中)

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 01 農業の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	農業所得者の総所得金額（億円） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		9.4	8.8	8.8	9.0	
評価	（状況）令和5年分の総所得金額が前年と同額となっている。 （原因）市内農産物販売額が令和4年と5年を比較してほぼ同額 となっていることから、所得金額も同額になったと思われる。	(億円) 				対 前年度
						
						目 標 達 成 度
						 (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の栽培面積（ha） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		190.1	183.3	180.7	190.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年比で1.4%(2.6ha)減少している。 (原因) イチゴ・トマト(大玉)・ブドウ・ナシの栽培面積減少が主な原因。新規就農もありナスのみ栽培面積が増加したが、イチゴ・トマト(大玉)・ブドウは離農により部会員数も減少している。	(ha) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業01 施設園芸等農業の展開

指標	園芸、特産作物の販売額（億円） 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		237.2	239.7	230.3	250.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年比-3.9%(9億3千万)程度販売額が減少。 (原因) 普通作以外の全ての項目(果樹、野菜、花き、茶、畜産)で前年より販売額が減少しており、特に果樹(-8%、6億5千万)が減少している。	(億円) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)


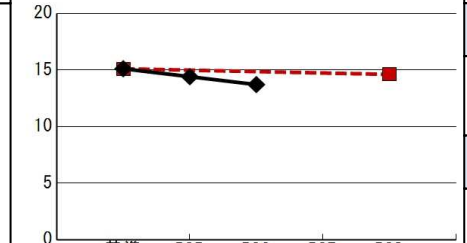


基本事業02 生産体制の維持

指標	担い手が経営している市内農地の集積率(%) 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		74.6	76.0	76.5	74.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.5%(約1.5ha)増加している。 (原因) 認定農業者(農事組合法人含む)への農地集積が進展したことにより集積率が増加したもの。	(%) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 生産体制の維持

指標	新規就農者数 累計 (人) 【農政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		27	44	50	52	☀ (向上)
評価	(状況) 令和6年度6人の新規就農者を確保できた。 (原因) JA就農支援センター及び先進農家の協力など就農希望者を受け入れる体制が確立されている。	(人) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (高)

基本事業03 農用地と営農環境の保全

指標	遊休農地面積 (ha)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値																									
	【農業委員会事務局】	15.1	14.4	13.7	14.6	 (向上)																									
評価	(状況) R5の14.4haより減少した。 (原因) 農地転用及び適正管理指導による減少分が新規発生面積を上回ったため。 ・解消面積：19,724㎡ ・新規発生面積：12,906㎡ 差し引き6,818㎡の解消	<div>(ha)</div>  <table><caption>遊休農地面積の推移 (ha)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>基準値 (R03)</th><th>実績値 (R05)</th><th>実績値 (R06)</th><th>目標値 (R08)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>15.1</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>-</td><td>14.4</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R06</td><td>-</td><td>-</td><td>13.7</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>14.6</td></tr></tbody></table>				年度	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	基準	15.1	-	-	-	R05	-	14.4	-	-	R06	-	-	13.7	-	R08	-	-	-	14.6	対 前年度  (向上)
	年度	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)																										
基準	15.1	-	-	-																											
R05	-	14.4	-	-																											
R06	-	-	13.7	-																											
R08	-	-	-	14.6																											
						目 標 達成度  (達成)																									

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 02 地域に活力をもたらす産業・雇用の創出

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	市内事業所数（事業所）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	2,873	2,923	2,942	2,880	☀ (向上)
評価	(事業所)					☀ (向上)
	<p>(状況) 昨年度より微増となった。法人均等割納税義務者の法人は38社増加だが、小規模個人事業者は19社減となった。</p> <p>(原因) 投資額の増加は続いており、経済市場は拡大基調にある。しかし、物価や賃金上昇、労働力不足により小規模個人事業者は、事業継続に課題も多い状況にある。</p>					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

指標	市内従業員数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	16,856	17,139	17,351	17,000	☀ (向上)
評価	(人)					☀ (向上)
	<p>(状況) 前年度より向上、目標値も達成済みとなっている。</p> <p>(原因) 定年延長や再任用などで労働者数も増加している。県南部の有効求人倍率は1.26(R7.3月時点)で、求人数の増減はあるものの、労働力不足感は続いている。また、事業所数の増もあって、従業員数は212人増加した。</p>					☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	企業誘致件数 累計 (事業所)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	1	5	7	4	☀ (向上)
評価	(状況) 企業誘致件数は目標値がR2～R6累計となっており、R6は2件であり累計で7件。 (原因) 民間企業の事業拡大により、市内に事業所が進出し、目標値に達した。	(事業所) 				☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

基本事業01 企業誘致・留置の推進

指標	資本金1億円を超える事業所数 (事業所)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	140	136	138	140	☁ (横ばい)
評価	(状況) 事業所数はほぼ横ばい状態にある。 (原因) 経済市場は拡大基調にあるが、物価や賃金上昇、労働力不足などの懸念材料もある。経済活動が元に戻ってきたことで微増となったと考えられる。	(事業所) 				☁ (横ばい) 目標 達成度 ☀ (高)


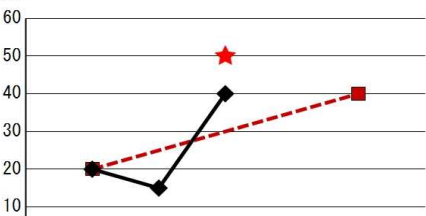


基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所の割合) (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	41.6	45.0	41.9	46.6	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より下落した。現在のままでは目標値を達成できない。 (原因) 個人消費や生産については持ち直しているが、原材料費等高騰下における価格転嫁は緩やかで、人件費や設備投資などは中小企業者の負担となっていると考えられる。	(%) 				☔ (低下) 目標 達成度 ☀ (中)

基本事業02 事業所の経営安定化と市内購買力強化

指標	日用品を市内で買っている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	80.1	81.8	82.0	83.2	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度と状況は変わらず、市内で購入している人は8割と多いが、地元商店街では1割ほどに留まっている。 (原因) 価格や品ぞろえ、営業時間などで有利なスーパーマーケットに加え、ドラッグストアも増加したことから、このような傾向が続くと思われる。	(%) 				☁ (横ばい) 目標 達成度 ☀ (中)

基本事業03 創業・事業開発への支援

指標	創業・新規事業進出件数 累計 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値															
	【商工観光課】	20	15	40	40	 (向上)															
評価	(状況) 目標値に達している (原因) コロナ禍を経て、創業機運が高まっている (R2 11件、R3 9件、R4 21件、R5 15件、R6 25件)。	<div>(件)</div>  <table><caption>創業・新規事業進出件数 (件)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準 (R03)</td><td>20</td><td>20</td></tr><tr><td>R05</td><td>15</td><td>25</td></tr><tr><td>R06</td><td>40</td><td>30</td></tr><tr><td>R08</td><td>40</td><td>40</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	基準 (R03)	20	20	R05	15	25	R06	40	30	R08	40	40	対 前年度
	年度	実績値	目標値																		
基準 (R03)	20	20																			
R05	15	25																			
R06	40	30																			
R08	40	40																			
		<div> (向上)</div> <div>目 標 達成度</div> <div> (達成)</div>																			

基本事業04 雇用の安定と確保

指標		合同会社説明会・面談会来場者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値															
		【商工観光課】	-	53	80	100	☀ (向上)															
評価		（状況）昨年度に引き続き、合同会社説明会を実施した。また労働者支援事務所と共催で労働相談会を開催した。 （原因）ハローワークの協力もあり、周知徹底を行い、求職者を昨年以上に集めることができた。大幅に来場数は増えたものの、目標値には届かなかった。	<div>(人)</div> <table><caption>合同会社説明会・面談会来場者数 (人)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準 (R03)</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>53</td><td>60</td></tr><tr><td>R06</td><td>80</td><td>80</td></tr><tr><td>R08</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	基準 (R03)	-	-	R05	53	60	R06	80	80	R08	100	100	対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■ (中)
年度	実績値	目標値																				
基準 (R03)	-	-																				
R05	53	60																				
R06	80	80																				
R08	100	100																				

政策 03 活気に満ちたまちづくり

施策 03 観光の振興

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	観光入込客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	521,000	836,000	840,700	1,080,000	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より微増したが、目標値までには達していない。 (原因) コロナ禍より中止した行事が多く、コロナ禍前の観光入込客数までの回復は難しい状況にある。	(人) 				☁ (横ばい)
		目 標 達 成 度 				■ ■ ■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 観光情報の発信

指標	観光プロモーションによるメディア露出件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	372	371	361	400	(横ばい)
評価	(状況) 昨年から若干減少した (原因) イベントの告知やPR方法は、以前は新聞や雑誌等が主流だったが、SNSの普及などにより、発信の主流は変化しつつある。					(対前年度)
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業01 観光情報の発信

指標	観光意欲度の県内順位（位）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	10	11	7	10	(向上)
評価	(状況) 観光意欲度の順位は上がり、目標値を上回った。 (原因) SNSやネットニュースでの配信に注力したことから、各種イベントの注目が向上した。					(対前年度)
						(向上)
						目標達成度
						(高)


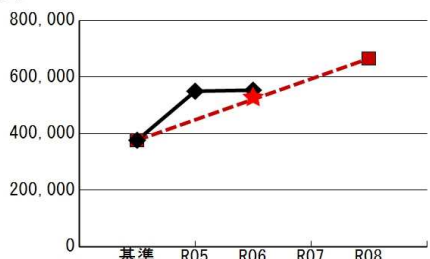


基本事業02 魅力ある観光事業の推進

指標	市内観光イベントの来場者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	2,100	55,500	52,600	89,000	(低下)
評価	(状況) コロナ禍に中止したイベントの再開に至っていない。 (原因) 「まかない飯GP」や花火大会等の大型イベント中止により、来場者数は停滞している。					(対前年度)
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業03 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	HAWKSベースボールパーク筑後の平均観戦者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	1,192	1,620	1,668	2,200	(横ばい)
評価	(状況) 目標値に対する達成率は前年から少し回復した。(R5: 73.64% R6: 75.81%) (原因) 球団イベントが数多く実施されたこと、また主力選手のリハビリや調整出場が話題となったこと、また球場での市主催イベントなど等が動員の伸びに繋がっているものと考え。					(対前年度)
						(横ばい)
						目標達成度
						(中)

基本事業03 ファーム本拠地と筑後船小屋駅を核とした広域連携による観光推進

指標	筑後船小屋駅周辺施設の入込客数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【商工観光課】	376,000	549,400	553,100	665,000	 (横ばい)
評価	(状況) 目標値に対する達成率は前年から少し回復した。(R5: 82.6% R6:83.1%)	(人) 				対 前年度
	(原因) 観光スポットにより増減はあるが、船小屋温泉郷の入込客数が伸びている(R5:105,800人 R6:122,300人)。					 (横ばい) 目 標 達成度  (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 01 子育て支援の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	子育てしやすい環境が整っていると思う保護者の割合 (%) 【児童・保育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		77.5	70.7	72.6	80.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より1.9ポイント上昇し、2年連続で上昇した。 (原因) 子育て世帯への支援策として様々な取組を行っており、一定の環境は整っていると思われるが、先進自治体等との比較において、劣ると感じる層も存在している。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (中)
指標	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%) 【こども家庭サポートセンター】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		96.1	96.4	96.8	97.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年比0.4ポイント上昇し目標値まで0.2ポイントと高い水準と評価する。 (原因) 待機児童がないことや広域公園があること、大きな災害がないこと、道路の整備や買い物等に不便を感じない生活環境なども影響していると考ええる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)
指標	年間出生数 (人) 【企画調整課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		431	360	332	400	☂ (低下)
評価	(状況) 3年連続で332人を割り込み、過去最低を更新した (R4: 385人、R5: 360人、R6: 336人) (原因) 全国的な傾向。婚姻数の減少、晩婚化、晩産化合計特殊出生率の低下					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 子どもの人権の尊重

指標	児童虐待件数 新規実人数 (件)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	5	11	13	-	
評価	(状況) 児童相談所に一時保護されたり、施設入所となった児童は13人となった。世帯数は9帯であった。 (原因) 子ども本人からの申し出や家出等のケースもあった。	<div> <div>(件)</div> </div>				(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						■■■ (中)

基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	保育所等の待機児童数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【児童・保育課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 私的待機(自己都合)はあるものの、受入枠の確保はできている。	<div> <div>(人)</div> </div>				☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	学童保育所の待機児童数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【児童・保育課】	0	14	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 待機児童ゼロを維持した。 (原因) 筑後北学童保育所、水田学童保育所を各1支援単位増設し、巡回型学童の活用等により、私的待機(自己都合)はあるものの、受入枠の確保はできている。	<div> <div>(人)</div> </div>				☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業02 保育サービスの充実・子どもの居場所づくり

指標	私立保育所等の障害児受入れ数(人)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【児童・保育課】	4	28	29	24	☀ (向上)
評価	(状況) 障害を持つ児童を29名受け入れることができた。 (原因) 令和4年度から令和5年度にかけて対象児童の見直しや補助の拡大を行い、対応する加配保育士を配置できるよう支援を行った。	<div> <div>(人)</div> </div>				☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏰 (達成)

基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減

指標	子どもの発達過程を知っている保護者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	88.2	90.6	90.9	93.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より0.3ポイント上昇している。 (原因) 乳幼児健診や赤ちゃん訪問の際、心配や疑問に答えたり、発達段階の特徴や発達の促し方を伝えている。					☁ (横ばい)
						☀ (向上)

基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	90.4	83.9	75.0	91.0	☔ (低下)
評価	(状況) 8.9ポイント低下。こどもの年齢に比例して育てにくさを感じる回答が増えている。 (原因) 少子化、核家族化、地域のつながりの希薄化の進行が身近な相談先の減少に影響していると考えられる。					☔ (低下)
						☔ (低下)

基本事業03 切れ目ない支援による子育て不安の軽減

指標	保護者1人当たりの、子育てについて相談できる相手、または相談できる機関の数（配偶者や親族を除く）（人（機関））	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	1.39	1.39	1.45	1.7	☁ (横ばい)
評価	(状況) 0.06ポイント上昇。横ばい。 (原因) 少子化や人間関係の希薄化の進行、アプリによる情報取得が一般的になっていることなどが影響していると考えられる。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業04 子どもの健やかな成長の支援

指標	低出生体重児の出生率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	8.9	11.3	15.1	9.0	☔ (低下)
評価	(状況) 前年度比3.8ポイント上昇した。 (原因) 多胎児が9組（前年度4組）と2倍に増回したことが大きな要因と考える。他に母のやせ、妊娠高血圧症候群、喫煙等低出生を予防できる要因もあった。					☔ (低下)
						☔ (低下)

基本事業04 子どもの健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診で要精密検査となった者の受診率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	88.0	78.9	85.7	90.0	☂ (低下)
評価	(状況) 6.8ポイント上昇した。未受診者の5名中、4名が3歳児健診での屈折検査で要精検となった者である。 (原因) 眼科の予約の取りづらさ、保護者の必要性の認識等の影響があると考えている。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業05 家族形成の支援

指標	若年層有配偶者率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	51.0	50.1	49.1	51.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度から1.0ポイント低下している。(R4:50.3、R5:50.1、R6:49.1) (原因) 全国的な傾向。新型コロナウイルス感染拡大、婚姻率の低下、晩婚化、晩産化合計特殊出生率の低下					☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業06 ひとり親家庭等の自立支援の推進

指標	ひとり親家庭等の自立支援推進事業の利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【こども家庭サポートセンター】	7	3	6	12	(比較不可)
評価	(状況) 前年度からの継続3件、新規は前年より2件増加し3件となった。 (原因) 物価高騰が続き、就業のための資格取得のニーズは高まっている可能性がある。					(比較不可)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	15歳から64歳までの死亡者数（人口10万人当たり） （人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	154.8	140.8	120.2	129.4	☀ (向上)
評価	(人)					(向上)
	<p>（状況）指標は 20.6で大きく減少。死亡者数(実数)は34人（前年比： 6人）。国より低い数値で推移。（参考 国R4:176.2、R5:178.2、R6:178.1） 国は暦年</p> <p>（原因）死因はがんが14人と最多で、40代、50代の自殺が3名。新型コロナの収束、高齢化に伴う当該世代人口の減少も一因と思われる。</p>					☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

指標	75歳未満の三大死因の死亡者数（人口10万人当たり）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	165.4	155.6	133.3	150.0	☀ (向上)
評価	(人)					(向上)
	<p>（状況）指標は大きく減少。死亡者数(実数)は55人（前年比： 10人）。国より低い値で推移。（参考 国R6:182.0、R5:187.3、R4:193.0、R3:190.6）</p> <p>（原因）がん： 50人、心疾患： 6人、脳血管疾患： 4人。昨年に続き、二死因は減少。死因の1位はがんで全体の9割を占め、肺、胃、大腸がんが上位。</p>					☀ (向上) 目標 達成度 ☀ (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活習慣の改善

指標	1人当たりの健康づくり取組項目数(11項目中)(項目)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	4.1	3.9	4.3	5.8	☀ (向上)
評価	(項目)					☀ (向上)
	(状況) 昨年度から0.4P上昇。週2日30分以上運動をする者の割合が3割を超えた。一方で、食への取組は低下している。 (原因) 運動(活動)の機会、意識は、コロナ禍前に戻りつつあるが、食に関してはコロナ禍以降、物価高騰の影響もあり、十分な取り組みができていない可能性がある。					☀ (向上) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業01 生活習慣の改善

指標	糖尿病性腎症における新規透析導入者数(人口10万人当たり)(人)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	12.2	16.27	8.17	11.0	☀ (向上)
評価	(人)					☀ (向上)
	(状況) 糖尿病性腎症による新規透析導入者(実人数)は4人と前年度(8人)から減少し改善した。 (原因) この透析導入は生活習慣の積み重ねの結果であり、単年度での評価は難しい。50代の糖尿病性腎症透析導入者は2人だが、後期高齢者世代の導入の増加が顕著。医療の進歩による影響も考えられる。					☀ (向上) 目標達成度 ■■ (達成)

基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	特定健康診査受診率(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	39.6	39.5	40.6	60.0	☁ (横ばい)
評価	(%)					☁ (横ばい)
	(状況) 受診率は昨年度を若干上回る値で推移している。確定値も前年度(39.7%)を若干上回る見込み。(R7.10月確定) (原因) 受診者数は、集団検診は前年度並み、施設検診の受診者数が減少。母数となる対象者(国保加入者)数の減少もあり、受診率は維持するも伸び悩んでいる。					☁ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 病気の早期発見・早期治療の推進

指標	1年に1回がん検診を受けている市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	37.5	39.7	36.5	50.0	☂ (低下)
評価	(%)					☂ (低下)
	(状況) 市民アンケートでは、前年度より3.2P低下している。 (原因) 男女別にみると、前年度に比べ男性が2.6P、女性は3.1P低下している。また、すべての年代で前年度より低下しており、特に40～64歳が13.4Pと低下が著しい。					☂ (低下) 目標達成度 ■■ (中)

基本事業03 こころの健康づくりの推進

指標	自殺者数（人口10万人当たり）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	12.6	14.2	18.3	10.0	☂ (低下)
評価	(状況) 自殺者数は、前年から2人増の9人。指標は、前年から4.1上昇し悪化している。今回、国16.1%（1.2）や県16.7%（1.9）を上回る状況となった。 (原因) 前年と比較し、10代20代の自殺者数は減少したが、40代50代の壮年期の自殺者が増加している。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 地域医療連携の推進

指標	紹介率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	65.6	71.2	72.2	50.0以上	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より1.0P上昇。 (原因) 分母となる総患者数は70,525人で、昨年度から2,000人弱減少しており、紹介の割合が相対的に高くなっている。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業04 地域医療連携の推進

指標	逆紹介率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	70.6	90.7	95.1	70.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度から4.4P上昇し、目標値を大きく（25.1P）超えている。 (原因) 新型コロナも一定収束し、抑制要因となっていたコロナ患者の減少に加え、総患者数の減少（2,000人弱減）も伴い、相対的に割合が高くなっている。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業05 国民健康保険財政の持続運用

指標	国民健康保険1人当たり医療費 <年額>（円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市民課】	443,447	460,640	466,582	-	☂ (低下)
評価	基準値（R3）443,447円より増加し、前年度比においても増加している。					対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (---)

基本事業06 感染症対策の推進


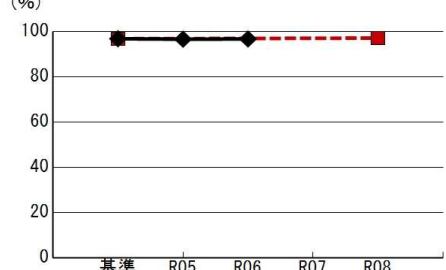


指標	感染対策を実施している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【健康づくり課】	-	93.3	92.3	80.0	
評価	<p>（状況）新型コロナウイルス感染症は一定の収束を迎えている中で、前年度より1.0P低下しているものの、基本的な感染対策の意識は高い。</p> <p>（原因）新型コロナ以外にも種々の感染症の流行もあり、感染症への恐れ、備えの意識は一定維持されていると考えられる。</p>					（比較不可）
						対 前年度 （低下） 目 標 達 成 度 （達成）


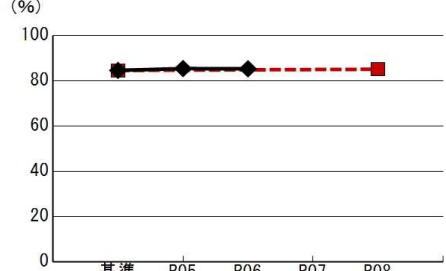


政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり


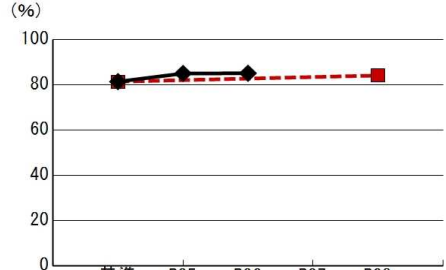


施策 03 高齢者福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	要介護等認定を受けていない65～74歳の市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	96.7	96.5	96.6	97.0	
評価	(状況) R5年度より0.1ポイント上昇したが、目標値には達していない。 (原因) 65-74歳の認定者数は減少しているが年代別被保険者数自体が減少しているため、認定を受けていない割合としては、ほぼ横ばいであった。					(横ばい)
						対 前年度  (横ばい) 目 標 達 成 度  (低)

指標	要介護等認定を受けていない75～84歳の市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	84.5	85.3	85.2	85.0	
評価	(状況) R5年度より0.1ポイント減少したが、目標値は上回った。 (原因) 75-84歳の認定者数は増加しているが年代別被保険者数自体が増加しているため、認定を受けていない割合としては、ほぼ横ばいであった。前年度と比較し要支援認定者が増加傾向である。					(向上)
						対 前年度  (横ばい) 目 標 達 成 度  (達成)

指標	生きがいを持っている高齢者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	81.3	84.9	85.0	84.0	
評価	(状況) 昨年度より0.1ポイント向上、基準値と比較し、3.7ポイント高くなった。 (原因) 後期高齢者は前年度より4.5ポイント低下の83.2%であったが、前期高齢者は前年度より3.4ポイント向上の86.6%となっており、全体として0.1ポイント向上の85.0%であった。					(向上)
						対 前年度  (横ばい) 目 標 達 成 度  (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生きがいきつくりと介護予防の推進

指標	新規認定者の平均年齢 (歳)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	82.4	82.2	82.1	83.0	(横ばい)
評価	(状況) 平均年齢が82.1歳で、前年度より0.1歳、目標値より0.9歳、平均年齢が下がった。 (原因) 新規認定者のうち60歳代が増加したが、全体に占める割合としては80歳代が約半数を占めている。					(横ばい)
						目標達成度 (低)

基本事業01 生きがいきつくりと介護予防の推進

指標	65歳以上の要介護等認定者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
	【高齢者支援課】	16.9	17.1	17.6	16.9	(低下)
評価	(状況) 前年度と比較し、0.5ポイント増加した。目標値よりも0.7ポイント高い。 (原因) 65歳以上の第1号被保険者数は0.4ポイント(13,765 13,816人)増加したが、認定者はそれを上回り3.4ポイント増加(2,357 2,436人)となった。					(低下)
						目標達成度 (中)

基本事業02 相談体制の充実と権利擁護

指標	相談先がある高齢者の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
	【地域包括支援センター】	82.7	82.4	83.8	86.0	(向上)
評価	(状況) 前年度から1.4ポイント、基準値から1.1ポイント増加。 (原因) 市公式LINEや出前講座、各種団体の会議等で地域包括支援センターの役割について周知してきたことが要因と考える。					(向上)
						目標達成度 (高)

基本事業02 相談体制の充実と権利擁護

指標	高齢者の権利が損なわれた件数 (虐待・権利) (件)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
	【地域包括支援センター】	11	10	16	-	(低下)
評価	(状況) 虐待認定件数は前年度より6件、基準値より5件増加。相談件数は、前年度より5件増加し19件。 (原因) 虐待種別は多い順に身体、経済、心理、ネグレクト。経済的虐待(21.7%)は前年度より11.2ポイント増加しており、R5年度の全国平均(15.9%)を上回っている。					(低下)
						目標達成度 (---)

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	介護予防・生活支援サービスの利用登録者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	161	129	141	185	☂ (低下)
評価	(状況) 利用登録者数は前年度比12人増加 (原因) 前年度と比べると、生きがいサービスに登録者数は2人減のほぼ横ばいであるが、シルバーお助けサービスの登録者は14人増加しており全体として増加となった。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業03 日常生活支援サービスの推進

指標	日常生活支援サービスを行う団体数（団体）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【地域包括支援センター】	9	12	13	14	☀ (向上)
評価	(状況) 地域の支え合い活動が1団体増え、準備会が2団体で発足した。 (原因) 支え合い活動の現状や効果を行政区長研修会や広報ちくこで周知したことが、準備会の立ち上げに繋がったと考える。また、生活支援コーディネーターが、日頃から顔の見える関係性を築いていたことも要因だと考える。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	要介護認定者（要介護1～5）のうち、在宅サービスを利用している者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	70.6	69.2	67.7	74.1	☂ (低下)
評価	(状況) 基準値比 2.9P、前年度比 1.5P (原因) 認定者数は前年比+1.7Pに対し、在宅サービス利用者は0.1P、地域密着型サービス利用者は2.3P。一方で施設利用者は+4.1Pとなっている。特養、老健共に利用者が増えている。					☂ (低下)
						☂ (低下)

基本事業04 介護保険サービスの推進

指標	地域密着型事業所の利用定員数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	217	207	167	264	☂ (低下)
評価	(状況) 令和6年度に小多機と看多機の公募を行ったが、応募がなかった。令和6年度中に地密事業者が2事業所休止、廃止により定員が40名減となった。 (原因) 小規模多機能野の花が休止（定員25名）、定期巡回・随時対応型訪問介護看護はーとはんごChikugoが廃止（定員15名）となったため					☂ (低下)
						☂ (低下)

基本事業05 保険制度の持続運用

指標	介護保険1人当たりの給付額<年額>（円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【高齢者支援課】	246,480	262,488	272,488	-	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度と比較し、10,000円増加した。一人当たりの給付費については、年々増加している。 (原因) 被保険者増、認定者増により給付費全体の金額は伸び続けている。介護報酬などの改定などにより、一人当たりの給付費についても増加している。	(円) 				対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 (---)

基本事業05 保険制度の持続運用

指標	後期高齢者 1 人当たりの医療費（年額）（円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市民課】	1,181,182	1,191,124	1,185,144	-	☁ (横ばい)
評価	R6実績値の取得時期はR8.9月末のため前年度の実績を入力 (状況) 令和5年度実績値は前年度比0.50%減（県内順位24位） (原因) 前年度は一人当たり通院費（489,215円）が高い水準であったが、前年度比17,417円減少（471,798円）している。	(円) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 (---)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 04 障害者（児）福祉の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	障害福祉サービスの実利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	694	793	857	910	☀ (向上)
評価	(状況) 対前年度8%増。対基準値23.5%増となっており、障害児については対前年度18%増となっている。 (原因) サービス利用需要は変わらず高い。特に、障害児については需要に応じて事業所の新規開設があり、利用者は増加している。	(人) 				☀ (向上) 目標 達成度 ■■■ (高)

指標	移動を伴う障害福祉サービス延べ利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	537	632	634	720	☀ (向上)
評価	(状況) 対前年度増減なし、対基準値18%増 (原因) 新型コロナによる利用控えから回復傾向は落ち着き、必要な人がサービス利用しているものと思われる。	(人) 				☁ (横ばい) 目標 達成度 ■■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 障害福祉サービスの推進

指標	【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		11,672	14,110	15,548	14,330	☀ (向上)
評価	【福祉課】	(件) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 地域生活支援サービスの推進

指標	【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		14,679	15,079	13,513	15,750	☂ (低下)
評価	【福祉課】	(件) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (低)

基本事業03 障害者（児）の人権擁護

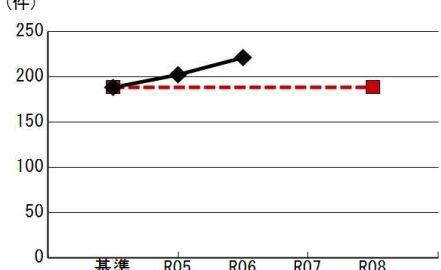
指標	【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		0	2	1	-	(比較不可)
評価	【福祉課】	(件) 				対 前年度 (比較不可)
						目 標 達成度 (---)

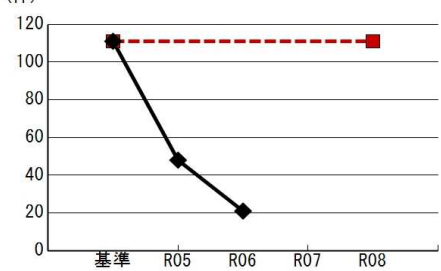
政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生活保護に関する相談件数（過去3年平均）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	188	202	221	188	☀ (向上)
評価	【状況】3年平均としては、19件増加した。実績としては増加傾向にある。					☀ (向上)
	【原因】社会全体の物価高騰が続く状況の中で、境界層にいた者が生活継続困難となって生活保護相談の増加に繋がった、と推測する。					☀ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)

指標	生活困窮に関する相談件数（過去3年平均）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	111	48	21	111	☔ (低下)
評価	【状況】3年平均としては、27件減少した。					☔ (低下)
	【原因】生活保護の申請が増加しており、その反動で生活困窮に関する相談が減少したのでは、と推測している。					☔ (低下) 目標達成度 ■■■ (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	「自立支援プラン」を作成した生活困窮世帯のうち、自立（就労）につながった世帯の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		53.1	50.0	80.0	85.0	☀ (向上)
評価	【状況】30.0ポイント向上した。 【原因】自立支援プラン作成件数が、前年度の6件から5件に減少した。うち4件が就労自立し、1件は年度末での支援開始のため、現在支援継続中である。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業01 生活困窮者の自立支援と適正な生活保護

指標	生活保護で生活が守られている世帯数（世帯） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		199	217	234	-	(比較不可)
評価	【状況】前年度から17世帯増加した。生活保護受給世帯数は月では最小値229世帯、最大値243世帯で年度末にかけて増加傾向にあった。 【原因】世帯類型では高齢者世帯の増加が見られ、市内の高齢者施設への入所に伴い、親族からの支援がストップし生活保護となっているケースが多い。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達 成 度 (---) (低)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅入居率（％） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		91.6	91.7	100	94.0	(比較不可)
評価	(状況) 空き家募集できる住戸がないため入居率100% (原因) 玄ヶ野・高銭野団地集約建替事業に伴う移転のために空き家を確保する必要がある。久富、鶴田、井田、常用団地を政策空き家とする。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業02 市営住宅による住宅の確保

指標	市営住宅管理戸数（戸） 【都市対策課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		489	489	489	446	☁ (横ばい)
評価	(状況) 住宅住管戸数に増減なし。 (原因) 玄ヶ野団地建替事業はR7～R12に実施予定のため、実績値変更なし。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

政策 04 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

施策 06 地域福祉の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	地域で助け合い、支え合いができていると思う市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	37.7	39.3	40.2	50.0	☀ (向上)
評価	【状況】前年度から0.9pt増加し、目標値にはまだまだであるが、2年続けての増加となっている。					☀ (向上)
	【原因】地域活動がコロナ前の状況に戻っている。地域食堂を立ち上げる地区も増えてきていることなどが考えられる。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

指標	地域の福祉活動で支え合いができていると思う民生委員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【福祉課】	76.8	86.9	87.0	80.0	☀ (向上)
評価	【状況】回答者63名のうち、「思わない」1名、「あまり思わない」7名、「やや思う」43名、「思う」12名であった。					☀ (向上)
	【原因】回答が一番多い「やや思う」は、R5 43/69件、R6 43/63で、率では6ptほど増加。「思う」では、R5 17/69件、R6 12/63で、5ptほど減少。単年比較が難しい。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 支え合いの意識と人づくり

指標	地域福祉活動に参加している市民の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		6.0	6.3	6.1	10.0	☁ (横ばい)
評価	<p>【状況】前年度比0.2pt減。</p> <p>【原因】地域活動の中でも福祉活動にサービス提供側として参加している人の割合は横ばい。地域行事活動への参加が「特になし」の割合が34.1%で前年比5.6P増となっている。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 福祉サービスにつながる体制・仕組みづくり

指標	民生委員・児童委員の年間相談件数（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		3,531	2,589	2,837	3,570	☂ (低下)
評価	<p>【状況】前年度から248件増加。</p> <p>【原因】前年度より、高齢者、障害者、子ども、それぞれの分野の相談が大きく増加している。民生委員の改選から2年がたち、民生委員も活動に慣れ、また地域での民生委員の認知も上がり、相談しやすい環境になっていることが影響していると考ええる。</p>	<p>(件)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 福祉サービスにつながる体制・仕組みづくり

指標	民生委員の活動の中で、行政や社協、支援事業所等との連携ができてい则认为る民生委員の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		84.9	86.9	98.5	90.0	☀ (向上)
評価	<p>【状況】回答者70名のうち、未回答者2名、「思わない」0名、「あまり思わない」1名、「やや思う」48名、「思う」19名。</p> <p>【原因】連携できていない機関先は、市役所1部署となっていた。理由記載欄は、記載なしであった。</p>	<p>(%)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 01 学校教育の充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	将来の夢や目標を持っている小学6年生の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	85.9	80.8	82.6	83.0以上	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より1.8ポイント向上している。 (原因) 各学校にて様々な職業人の話を直接聞く機会を設けるなど様々な取組を行うなど、児童が将来について意識する機会を設けている。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

指標	将来の夢や目標を持っている中学3年生の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	65.2	65.1	61.7	72.0	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度より3.4ポイント低下している。 (原因) 生徒に将来の夢に向けた進路意識を持たせるキャリア教育等を実施しているが、十分な効果が出ていない。					☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

指標	学校教育（小・中学校）に満足している保護者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【学校教育課】	70.7	70.7	70.5	80.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 昨年度より0.2ポイント減少した。 (原因) 特定の校区で低評価の方が増えている。学校再編など保護者としての不安等が影響した部分はあるのではないかと。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の向上

指標	小学6年生の国語、算数（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		103.9	102.5	100.6	103.0	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度より1.9ポイント低下したが、全国平均値は上回っている。 (原因) 各学校で学力向上プランを定め、各学校の状況に応じた取組を進めている。</p>					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	中学3年生の国語、数学（全国学力・学習状況調査）の平均点の指数（pt） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		100.3	95.2	97.6	100.0以上	☁ (横ばい)
評価	<p>(状況) 前年度を2.4ポイント上回ったが、目標とする国の平均値を下回っている。 (原因) 各教科で思考・判断・表現に分類される問題の正答率が低いなど、学校ごとに傾向を分析し学力向上に向けた取組を進めている。</p>					対前年度 ☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合（％） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		84.8	84.1	81.5	85.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度を2.6ポイント下回った。 (原因) 「どちらかといえば」を含めれば、97%の児童がいじめをいけないことだと判断している。</p>					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている小学6年生の割合（％） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		94.9	93.4	92.1	95.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 前年度を1.3ポイント下回っている。 (原因) 健やかな成長のため、食事や睡眠など規則正しい日常生活を送るよう、家庭やPTAと連携した取組を進めている。</p>					対前年度 ☔ (低下)
						目標達成度 ■■ (中)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		86.7	79.1	76.6	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度を2.5ポイント下回っている。 (原因) 学校教育全般を通して生徒の規範意識の向上、生命や人権を大切にする指導を行なっているが十分な成果に結びついていない。	(％) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業02 豊かな心の育成

指標	毎日朝食を食べている中学3年生の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		92.1	88.6	89.4	93.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度を0.8ポイント上回っている。 (原因) 家庭への啓発やPTAの取組によって若干ではあるが成果向上の傾向にある。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	小学5年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		98.2	98.7	100.3	100.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) 全年度を1.6ポイント上回っている。 (原因) スポコン広場への積極的な参加や若年教員の体育指導に対する指導主事の支援等を実施している。	(pt) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業03 健やかな体の育成

指標	中学2年生の体力・運動能力調査の平均点の指数(pt)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		101.5	105.6	104.9	102.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より0.7ポイント低下している。 (原因) 引き続き全国平均を上回る水準を維持している。	(pt) 				対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (高)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	学校関係者評価において、学校と地域との連携がとれていると認められた学校（小学校）の割合（％） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		77.3	100	90.9	100.0	☂ (低下)
評価	各学校前期・後期の2回学校評価を実施しているが、2小学校で前期評価が低かったものの、後期における取り組みにより、後期評価では全校で高評価となった。指摘に対し各学校が取り組みの見直しや強化を行った成果である。	(％) 				☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業04 小中連携・地域連携の推進

指標	1,000人当たり不登校生徒の出現率（全国平均100とした場合）（過去3年平均）（pt） 【学校教育課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		93.0	111.4	-	100.0以下	(---)
評価	指標取得のための全国統計が未発表	(pt) 				(---)
						目 標 達成度 (---)

基本事業05 教育環境の充実

指標	長寿命化計画事業の着手率（％） 【教育総務課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		25.0	65.4	75.0	88.5	☀ (向上)
評価	(状況) 筑後小のエレベーター更新等を行った。 (原因) 計画どおりに行った。	(％) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業05 教育環境の充実

指標	老朽化空調設備の更新率（％） 【教育総務課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		17.8	42.2	66.7	68.9	☀ (向上)
評価	(状況) 二小校長室・保健室、筑後北小校長室、西牟田小校長室・保健室の空調機の更新を行った。 (原因) 水田小空調機移設及び故障等により計画を変更し行った。	(％) 				☀ (向上)
						目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業05 教育環境の充実

指標	小中学校門扉の設置校数（校数）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【教育総務課】	4	8	10	12	☀ (向上)
評価	(状況) 水洗小学校、筑後小学校の2校に門扉を設置した。 (原因) 計画どおりに実行できた。	(校数) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 🏰 (達成)

基本事業05 教育環境の充実

指標	施設設備営繕要望の対応率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【教育総務課】	96.6	99.1	98.7	98.0以上	☀ (向上)
評価	(状況) 対応件数の増加や多種多様な営繕にも対応を行っている。 (原因) 速やかな状況把握により実施している。	(％) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 🏰 (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 02 生涯学習・スポーツの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習活動を行っている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	64.9	68.16	71.35	70.0	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度より若干増加した。 (原因) 生涯学習の中でも趣味や読書をしている市民の割合が増加した。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)
指標	学習効果を家庭・地域に活かしている市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	33.8	27.04	31.09	35.0	☔ (低下)
評価	(状況) 昨年度より増加 (原因) 学習効果を自分だけでなく地域活動やボランティア、家庭のために活かしている人が若干増えている。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯学習の推進

指標	生涯学習の機会に満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	11.4	15.38	14.73	17.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度と比較し、若干低下した。 (原因) 市民アンケートで、「満足」・「やや満足」と回答した人が合わせて76人(R5:70人)と増えたものの、「ふつう」と回答した人も402人(R5:346人)とアンケート回答者が516人(R5:455人)と増えたため満足している市民の割合が低下した。					☁ (横ばい)
						☀ (向上)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	社会教育施設の年間利用者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	110,842	180,881	181,096	240,000	☀ (向上)
評価	(状況) サザンクス筑後 90,254人 中央公民館(サコア) 43,918人 北部交流センター(チロ) 46,924人 前年度に比べサザンクスは12%増、サコア及びチロは10%減となっている。 (原因) サコアについては、利用者の多くが高齢者層の団体であり、団体内の参加者が年々減少している。					☁ (横ばい)
						☀ (向上)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	協働活動サポーター登録者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	168	312	372	220	☀ (向上)
評価	(状況) 昨年度よりも大幅に増えた。 (原因) 各学校で活動が広がり、活動に応じてサポーターも増えたものと思われる。					☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 生涯学習の推進

指標	図書館を利用している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	26.6	26.6	26.4	30.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和7年3月31日現在 人口 48,972人 市民登録者 12,942人 前年度比0.2%減 (原因) 図書館イベント情報等を発信しておりイベント参加者は多いが、既登録者の利用・参加が多い為か、新規登録者の増加に結びついていない。					☁ (横ばい)
						☀ (向上)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	週に1回以上、運動・スポーツをしている市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	52.0	52.1	51.9	50.0以上	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から増加し、目標達成となった。ほぼ毎日スポーツをした割合が4.1%下がっている。 (原因) 運動・スポーツに対する状況が通常の状態に戻った可能性がある。					対 前年度 (横ばい)
						目標 達成度 (達成)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	競技会場に行ってスポーツを見る市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	19.2	30.2	28.8	40.0	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から微減の状況である。 (原因) 新型コロナウイルス感染症が収束したもの、多種多様な趣向が出てきていると推測される。					対 前年度 (横ばい)
						目標 達成度 (高)

基本事業02 生涯スポーツの推進

指標	1年間にスポーツボランティア活動をした市民の割合(%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	6.4	11.2	11.0	8.0	(横ばい)
評価	(状況) 前年度から微減であるが、昨年度に続き目標を達成している。 (原因) 引き続き、運営スタッフや出場者の保護者等による活動が継続したためと推測される。					対 前年度 (横ばい)
						目標 達成度 (達成)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	指定文化財のき損・滅失・亡失・盗難件数(件)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	2	2	0	0	(向上)
評価	(状況・原因) ・R6年度のき損・滅失・亡失・盗難件数は0件であった。					対 前年度 (向上)
						目標 達成度 (達成)

基本事業03 文化財の保護と活用

指標	市民が活用した無形指定文化財等の件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	5	12	12	5	(横ばい)
評価	(状況) 水田千燈明、稚児風流、盆綱曳き、修正会、溝口千燈明、欠塚古墳天体観望、平和事業、小さな博物館5回、合計12件	<div> <p>(件)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p> </div>				(横ばい)
						目標 達成度 (高)

基本事業04 青少年教育・体験活動の推進


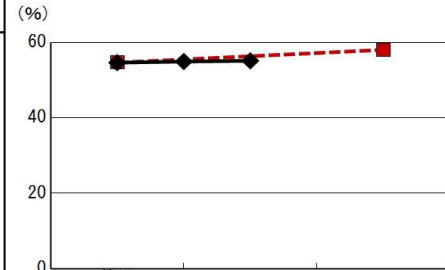


指標	青少年体験活動に満足している参加者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【社会教育課】	92.8	80	90.4	90.0以上	(低下)
評価	(状況) トレーニングキャンプとウィンターキャンプは目標を上回った。 (原因) トレーニングキャンプでは、地引網体験や魚さばき見学、ウィンターキャンプではボルダリングに挑戦する等、日頃出来ない体験が出来た事も大きな要因ではないかと思われる。	<div> <p>(%)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p> </div>				(向上)
						目標 達成度 (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 03 男女共同参画社会の推進





あるべき姿

施策の成果状況と評価


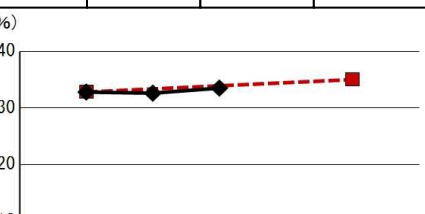


指標	男女が平等だと思う市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【男女共同参画推進室】	54.6	54.9	55.1	58.0	
評価	(状況) 昨年との比較 学校75.4% 73.8% 職場46.1% 44.9% 家庭50.2% 53.6% 地域48.0% 47.9%	<div> <div>(%)</div>  </div>				(横ばい)
						対 前年度
						
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						
						(高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 男女共同参画社会実現に向けた市民や市内企業への啓発

指標	「男は仕事、女は家庭」という固定的な役割分担意識に反対する市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【男女共同参画推進室】	48.4	49.7	63.1	55.0	 (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) 夫婦共働きでなければ生活が苦しいという経済的な理由のほか、女性の進出が進み、多様な価値観が広がっているからだと思われる。SNSやメディアを通して、様々な意見が可視化され、意識の変化を後押ししている。					対 前年度  (向上)
						目 標 達 成 度  (達成)

基本事業02 まちづくりにおける女性参画の推進

指標	審議会・委員会の女性登用率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【男女共同参画推進室】	32.8	32.6	33.5	35.0	
評価	（状況）向上 （原因） R3:33.0%、R4:32.1%、R5:32.7%、R6:35.6% 過去3年の平均値になるため、33.5%となるがR6の数値だけを見ると目標値を達成。地道な女性推薦の働きかけや、社会全体の意識の変化により少しずつ改善につながっている。					（横ばい）
						対 前年度  （向上） 目 標 達成度  （高）

基本事業⁰² まちづくりにおける女性参画の推進

指標		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値								
区長・公民館長・地域役員の女性登用率（％）		-	21.7	22.9	23.0	☁ (横ばい)								
【男女共同参画推進室】														
評価	<p>（状況）上昇 女性区長(R5:2/75人 R6:2/75人) 女性公民館長(R5:7/75人 R6:6/73人) 女性地域役員(R5:267/1228人 R6:209/912人) （原因） 役員数の考え方が前年度と違う地区もあり、比較が難しい部分もあるが、アンケート調査や聞き取りなど地道な啓発活動によるものだと推察される。</p>	<p>(%)</p> <table border="1"><thead><tr><th>Year</th><th>Value (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R05</td><td>21.7</td></tr><tr><td>R06</td><td>22.9</td></tr><tr><td>R08</td><td>23.0</td></tr></tbody></table>				Year	Value (%)	R05	21.7	R06	22.9	R08	23.0	対 前年度
		Year	Value (%)											
R05	21.7													
R06	22.9													
R08	23.0													
		☀ (向上)	目 標 達成度	■■■ (高)										

基本事業⁰³ 男女に関する人権保護と相談体制の充実

指標	男女の人権に関する通知・連携件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		2	3	0	-	
評価	【男女共同参画推進室】	(件) 				(比較不可)
	(状況) DVによる県との連携は0件 (原因)					対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業04 ジェンダー平等の視点を反映した施策の推進

指標	ジェンダー平等の視点が事業に反映していると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【男女共同参画推進室】	66.3	69.9	70.6	70.0	☀ (向上)
評価	(状況) 向上 (原因) 特に30歳未満の割合(R5:67.5% R6:74.0%)が増加。SNS等を通し、社会全体でジェンダー平等の意識が広がっていることもあるのではないかと推察される。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目標 達成度 🏠 (達成)

政策 05 豊かな人間性と創造性を育むまちづくり

施策 04 人権尊重と同和教育の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	最近1年間に人権を傷つけられたことがある市民の割合（％） 【人権・同和対策室】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		23.8	23	23.6	21.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年比0.6ポイント増 (原因) 何気ない言葉に無意識の差別が隠れており、人と関わることで相手を差別したり、傷つける意図はなくても相手の心に影を落としてしまっていることが要因と考えられる。					対 前年度
						☂ (低下) 目標 達成度 ■■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市民や市内企業への人権教育・啓発

指標	人権啓発事業・講座への初めての参加者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	26.0	31.1	20.7	31.0	☂ (低下)
評価	(状況) 7月講演会(22.1%) 12月つどい(28%)、セミナー(13.3%) 合計143/688人(20.7%)。昨年度比10.4ポイント減。 (原因) 人権問題に対する講演会について初めての参加者の減少が影響している。	<p>(%)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				対 前年度 ☂ (低下)
		<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ ■</p> <p>(低)</p>				

基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発

指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う小学6年生の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	84.8	84.1	81.7	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比2.4ポイント減 (原因) 前年度比較については、対象者が同じではないため比較できない。	<p>(%)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				対 前年度 ☂ (低下)
		<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ ■</p> <p>(低)</p>				

基本事業02 児童・生徒への人権教育・啓発





指標	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う中学3年生の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【人権・同和対策室】	86.7	79.1	76.6	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比2.5ポイント減 (原因)	<p>(%)</p> <p>基準 R05 R06 R07 R08</p>				対 前年度 ☂ (低下)
		<p>目 標 達 成 度</p> <p>■ ■ ■ ■</p> <p>(中)</p>				

政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり





施策 01 防災・減災対策の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	被災世帯・事業所数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	4	55	0	0	 (向上)
評価	【状況】 令和6年度は、家屋及び事業所の被害はなかった。					対 前年度  (向上)
						目 標 達 成 度  (達成)

指標	災害による負傷者数 (人)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対基準値
		0	1	1	0	☂ (低下)
評価	【状況】 台風第10号による重傷者が1名。(8/29)					対前年度 ☂ (低下)
						目標達成度 ■■■ (低)

指標	災害による死亡者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	0	0	0	0	 (向上)
評価	【状況】 令和6年度において、市内で災害による死亡者は0件だった。					対 前年度
						 (向上)
						目標 達成度
						 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防災・災害情報機能の充実

指標	防災・災害情報を取得できる市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	94.8	96.0	98.1	96.0	☀ (向上)
評価	【状況】 令和6年度市民アンケート結果では、98.1%となり、目標を達成した。 【原因】 特にテレビdボタン（87.5%）やインターネット（52.8%）からの取得が多く、近年の多発する災害に対する防災意識の向上が背景にあると思われる	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	家庭での災害時の備えの取組項目数（13項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	3.7	3.1	3.2	6.5	☔ (低下)
評価	【状況】 前年度から0.1ポイントの微増となった。 【原因】 懐中電灯や食料品・飲料水の備蓄等は比較的高い割合で備えができています。 また、災害情報取得のためのSNS登録件数やハザードマップの確認が増えていることが指標の向上につながったと思われる。	(項目) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ☔ (低)

基本事業02 地域防災力の向上

指標	個別避難計画が策定されている要支援者の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	9.0	12.13	16.73	15.0	☀ (向上)
評価	【状況】 前年度から4.6ポイント増加した。 【原因】 個別避難計画作成に関する意向調査及び計画作成支援の取り組みを進めたため。 令和6年度に計画作成支援を働き掛けた対象は、羽犬塚、古川、水洗、下妻、古島小学校区の75歳以上の高齢者のみの世帯	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業03 災害時の支援体制の充実

指標	災害時に職員として果たすべき役割や初動を理解している職員の割合（団体）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	93.1	92.5	90.3	100.0	☔ (低下)
評価	【状況】 2.2ポイント減少した。 【原因】 新規採用職員の増加等により、災害時の役割の理解度が低くなったと考えられる。	(団体) 				対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ☔ (中)

基本事業03 災害時の支援体制の充実

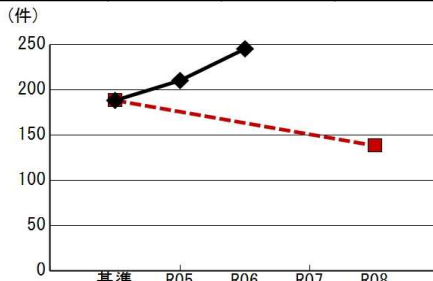
指標	災害時応援協定締結数（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	76	92	93	86	☀ (向上)
評価	【状況】 令和6年度は、佐川急便株式会社と災害時応援協定を締結した。（前年度比較+1協定）	(％) 				対 前年度
						☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)

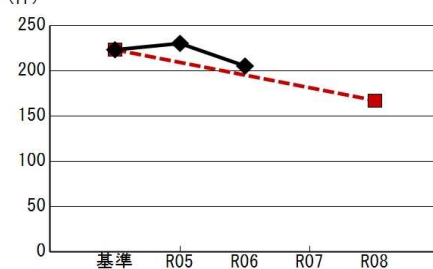
政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

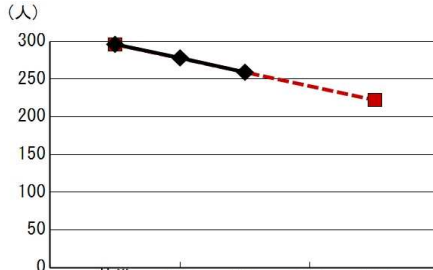
施策 02 安全な暮らしの推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

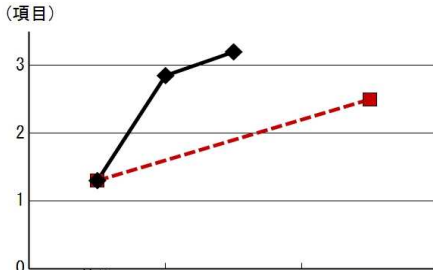
指標	市内の刑法犯認知件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	188	210	245	138	☂ (低下)
評価	【状況】 前年から35件増加した。					対 前年度 ☂ (低下)
	【原因】 市内の刑法犯認知数の増加は、詐欺等の知能犯の増加が主な 要因と考えられる。 (R5年11件、R6年28件)					目 標 達 成 度 ■■ (低)

指標	交通事故発生件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	223	230	205	167	☁ (横ばい)
評価	【状況】 前年から25件減少した。					対 前年度 ☀ (向上)
	【原因】 歩行者関連の事故、自転車関連の事故及び子ども関連の事故 が減少している。登下校の見守り活動や交通安全に関する意識 の向上が要因と思われる。					目 標 達 成 度 ■■■ (高)

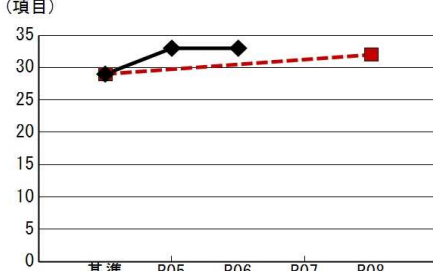
指標	交通事故死傷者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	296	278	259	222	☀ (向上)
評価	【状況】 前年から19件減少した。					対 前年度 ☀ (向上)
	【原因】 交通安全に関する意識の向上により、交通事故件数が減少 し、死傷者数の減少につながったと思われる。					目 標 達 成 度 ■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

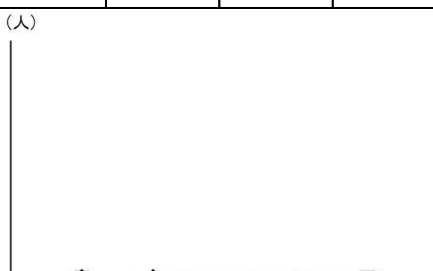
基本事業01 防犯対策の推進

指標	家庭での防犯対策取組項目数（10項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	1.3	2.85	3.2	2.5	☀ (向上)
評価	【状況】 前年度から0.35ポイントの微増となった。					☀ (向上)
	【状況】 近年、匿名などの犯罪が全国で発生していることから、市民の防犯意識が向上したことが要因と考える。					☁ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

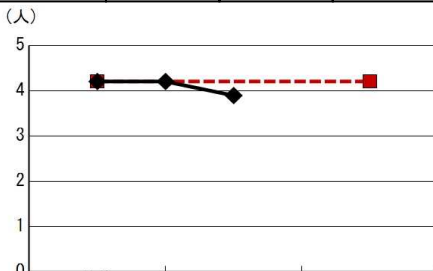
基本事業01 防犯対策の推進

指標	地域での防犯対策実践延べ数（11校区×4項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	29	33	33	32	☀ (向上)
評価	【状況】 前年度から実績に変化なし。					☀ (向上)
						☁ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	交通事故死者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	0	0	3	0	☔ (低下)
評価	【状況】 市内の交通事故死者数は3件だった。					☔ (低下) 目標達成度 🏰 (低)

基本事業02 交通安全活動の推進

指標	高齢者1,000人当たりの交通事故死傷者数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【防災安全課】	4.2	4.20	3.89	4.2	☀ (向上)
評価	【状況】 前年比 0.31p 【状況】 高齢者の交通事故件数により、死傷者数が減少したことが要因と考えられる。					☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業03 消費生活の安定

指標	消費者相談の解決率（過去3年平均）（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		94.3	91.1	90.5	95.0	☂ (低下)
評価	(状況) 単年度の数値は95.1で、前年度より9.4pt上昇し、過去3年の平均実績値では前年度より0.6pt低下した。 (原因) 今年度は、他機関を紹介した案件が昨年度より大幅に減り、センターで解決できる案件が増加したことが影響した。	(％) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 消費生活の安定

指標	クーリングオフを知っている市民の割合（％） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		73.3	82.0	74.6	82.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 前年度より7.4pt下降。40～64歳の層がクーリングオフについて詳しく知らない人数が大きく増加した。 (原因) 高齢者に対しては、出前講座などで、クーリングオフについて詳しく説明する機会があるが、40～64歳の層に対する周知機会がなかなかないことも考えられる。	(％) 				対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)


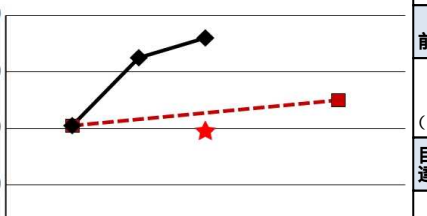


基本事業03 消費生活の安定

指標	特殊詐欺被害件数（件） 【福祉課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		5	0	1	0	☀ (向上)
評価	【状況】 令和6年度の発生件数は1件であった。	(件) 				対 前年度 ☂ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業04 空き家の適正管理

指標	老朽危険家屋の除却件数（累計）（件） 【防災安全課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		17	38	44	25	☀ (向上)
評価	【状況】 令和6年度除却件数6件 【原因】 空き家問題に対する関心が高まったことや市の除却補助事業が浸透したことが要因であると考ええる。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業04 空き家の適正管理

指標	空き家バンク取引成約件数（累計）（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
	【防災安全課】	41	65	72	50	 (横ばい)										
評価	【状況】 令和6年度成約件数 7件	<div>(件)</div>  <table><caption>空き家バンク取引成約件数（累計）（件）</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>41</td></tr><tr><td>R05</td><td>65</td></tr><tr><td>R06</td><td>72</td></tr><tr><td>R08</td><td>50</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	41	R05	65	R06	72	R08	50	対 前年度  (向上)
	項目	値														
基準	41															
R05	65															
R06	72															
R08	50															
						目 標 達成度  (低)										

基本事業04 空き家の適正管理

空き家バンク登録件数（累計）（件）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値											
指標	【防災安全課】	94	167	183	100	☁ (横ばい)											
評価	【状況】 令和6年度登録件数 16件	<div>(件)</div> <table><caption>空き家バンク登録件数（累計）（件）</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>94</td></tr><tr><td>R05</td><td>167</td></tr><tr><td>R06</td><td>183</td></tr><tr><td>R08</td><td>100</td></tr></tbody></table>					項目	値	基準	94	R05	167	R06	183	R08	100	対 前年度 ☀ (向上)
	項目	値															
基準	94																
R05	167																
R06	183																
R08	100																
		目 標 達成度 ■■■ (高)															

政策 06 安全で安心して暮らせるまちづくり

施策 03 消防・救急・救助体制の整備充実

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	人口1万人当たりの火災件数（3.5件） 【予防課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		2.9	3.5	1.6	➔	☀ (向上)
評価	(状況) 火災件数は8件であり前年比9件の減少。 (原因) 内訳として建物火災4件、車両火災1件、その他火災3件であり、建物火災8件、車両火災1件の減少となった。	(3.5件) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 🏠 (達成)

指標	市の消防や救急体制に満足している市民の割合（％） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		96.8	96.4	97.9	97.0	☀ (向上)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 職員の迅速かつ的確な災害等対応を評価していただいていると思慮する。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 🏠 (達成)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 消防団の充実強化

指標	平時にすぐに消防活動ができる団員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【総務課】	41.1	41.6	42.3	45.0	☀ (向上)
評価	(状況) ・昨年度から0.7%上昇 (原因) ・アンケート調査による昨年との比較で、平時に活動可能な団員数は微減であったが、団員全体の数も低下していることが割合を上昇させた1つの要因と思われる。					☀ (向上)
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (低)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	火災全体に占める住宅火災の割合（23.5％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	42.9	23.5	12.5	25.0	☀ (向上)
評価	(状況) 目標を達成している (原因) 全体の火災による住宅火災の割合は抑えられている。					☀ (向上)
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏠 (達成)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	市民による火災に対する初期消火実施率（70.6％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	50.0	70.6	62.5	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 火災に対する初期消火実施率は62.5%であった。 (原因) 市民及び事業所に対する訓練指導等の成果と思われる。					☁ (横ばい)
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

基本事業02 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器設置率（61.25％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【予防課】	76.0	61.25	53.14	85.0	☔ (低下)
評価	(状況) 昨年度と比較して8.11%の減少となった。 (原因) 地域によって設置率に差があると思われ今後も、継続して啓発していく必要がある。					☔ (低下)
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						■ ■ ■ (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	市民による心肺停止患者への蘇生術の実施率（％） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		76.4	48	66.1	80.0	(横ばい)
評価	(状況) 数値は上昇 (原因) 119受報側である指令センター指令員の指導及び救急隊のPACにより効果が得られたものと推測					(横ばい)
						対 前年度 (向上) 目標 達成度 (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	軽症での救急車利用割合（％） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		42.7	46.6	45.4	30.0	(横ばい)
評価	(状況) 数値は若干の低下 (原因) 時代背景もあると思料。独居や不安等心療的な部分によるものも増加要因のひとつであると予想する。					(横ばい)
						対 前年度 (横ばい) 目標 達成度 (中)

基本事業03 救急救命体制の充実

指標	人口千人当たりの救急救命士の割合（人） 【警防課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		0.2	0.26	0.26	0.3	(横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばい (原因) 救命士は計画のとおり毎年養成しているものの、昇格・異動等により降車する職員もいるため数値は横ばいであると思料。					(横ばい)
						対 前年度 (横ばい) 目標 達成度 (中)

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	立入検査時、消防設備が維持されていない割合（過去5年平均）（15.9％） 【予防課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		17.2	15.9	17.4	→	(横ばい)
評価	(状況) 昨年度より1.5%の上昇が認められたがほぼ横ばいである。 (原因) 継続して是正指導を行っていく必要がある。					(横ばい)
						対 前年度 (横ばい) 目標 達成度 (高)

基本事業04 防火対象物・危険物施設の適正管理の徹底

指標	危険物施設の火災・漏洩事故発生件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
	【予防課】	2	0	0	0	☀ (向上)										
評価	(状況) 危険物施設等の事故の発生はなかった。 (原因)	<div>(件)</div> <table><caption>危険物施設の火災・漏洩事故発生件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>2</td></tr><tr><td>R05</td><td>0</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	2	R05	0	R06	0	R08	0	☁ (横ばい)
	項目	値														
基準	2															
R05	0															
R06	0															
R08	0															
						目 標 達 成 度 (---)										

基本事業05 各種消防力の整備

市消防本部の通常人員で対応できなかった出動回数（回）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
指標	【警防課】	40	55	63	0	☂ (低下)										
評価	（状況）数値は増加している。 （原因）救急件数は令和6年中で2,502件と最高件数となり、 年々増加することで、災害輻輳頻度が増加したことが要因である。	<div>（回）</div> <table><caption>市消防本部の通常人員で対応できなかった出動回数 (回)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>40</td></tr><tr><td>R05</td><td>55</td></tr><tr><td>R06</td><td>63</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	40	R05	55	R06	63	R08	0	対 前年度 ☂ (低下)
						項目	値									
基準	40															
R05	55															
R06	63															
R08	0															
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)										

基本事業05 各種消防力の整備

指標		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
資機材トラブル件数（件）		27	14	38	0	☂ (低下)										
【警防課】																
評価	(状況) 数値は急増。 (原因) 経年劣化要因が21件、人的要因が14件、環境要因が1件、その他要因が2件であり、車両及び資機材の使用期間の長期化と不適切な使用要領が主な要因である。	<div>(件)</div> <table><caption>資機材トラブル件数 (件)</caption><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>27</td></tr><tr><td>R05</td><td>14</td></tr><tr><td>R06</td><td>38</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	27	R05	14	R06	38	R08	0	対 前年度
						項目	値									
基準	27															
R05	14															
R06	38															
R08	0															
						☂ (低下)										
						目 標 達 成 度										
						■■■ (低)										

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 01 市民協働の推進

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	地域活動へ参加している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	46.7	57.2	52.5	60.0	☀ (向上)
評価	地域活動は概ねコロナ以前に戻っているが、酷暑（7-10月頃）の影響や新型コロナウイルス感染防止のために主に高齢者を対象とした活動では実施・参加の両面で警戒感も未だに残っていると思われる。	(％) 				☁ (横ばい)
		目標達成度 				■■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	身近な地域活動が盛んであると感じている市民の割合（％） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		-	43.7	45.8	50.0	(比較不可)
評価	行政区及びコミュニティ協議会共にコロナ前の活動内容に戻っているが、主に高齢者を対象とした活動では実施・参加の両面でコロナ感染に対する警戒感も未だに残っていると思われる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 ■■ (中)

基本事業01 地域コミュニティ活動の活性化

指標	行政区加入率（％） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		94.2	93.1	92.6	94.5	☁ (横ばい)
評価	行政区加入促進パンフレットを作成し、各行政区や市窓口にて配布を行っているが、前年比で微減となっている。ふれあいイベント、安心安全の取組み、環境美化、子どもや高齢者の見守り等の基本的な自治会活動への理解から深めていく必要がある。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■ (中)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体の数（団体） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		39	40	39	42	☁ (横ばい)
評価	市民団体相互の理解を図る目的で8月と2月に代表者会議を実施。8月の代表者会議では新たな取り組みとなる円卓会議を実施。団体毎の課題を話すことで運営上の不安の解消に繋がった。また、団体の紹介冊子を作成し、周知を図っている。活動支援補助金の活用団体は2件（年度比-3）であった。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■ (中)

基本事業02 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア団体構成員（人） 【協働推進課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		1,744	2,049	2,023	1,850	☀ (向上)
評価	令和6年度は新規市民活動団体登録が2団体、抹消団体が3団体だったため、構成員が減ったもののほぼ横ばいとなった。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達 成 度 ■■ (達成)

基本事業03 国際化・多文化共生の推進

指標	多文化共生を理解している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	-	37.9	40.2	25.0	(比較不可)
評価	日本を訪れる多くのインパウンド外国人だけでなく、市内の様々な場所でも多くの外国人を見る機会が増えた。また少子高齢社会と人口減少時代の到来により、日常生活における外国人労働者の重要性も増しており、外国人に対する理解も深まっていると思われる。					(対前年度)
						(向上) 目標達成度 (達成)

基本事業03 国際化・多文化共生の推進

指標	外国語等を用いた情報提供件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【協働推進課】	5	12	19	12	(向上)
評価	市の窓口業務における機器の外国語表示の導入や市が配付する各種冊子の多言語対応等により外国語での情報提供が可能となった。 また、携帯電話の翻訳機能の向上などにより、日常生活での日本語の理解が進み利便性が向上したと思われる。					(対前年度)
						(向上) 目標達成度 (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 02 デジタル化の推進

あるべき姿

「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を実現すること。また行政事務が最適化され、職員負担の軽減と事務の効率化が同時に実現できること。

施策の成果状況と評価

指標	行政手続きのオンライン申請率 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	18.4	49.7	42.3	51.0	☀ (向上)
評価	R4:44.9% R5:49.7% R6:42.3%(7.4pt) 職員採用試験申込については100%(230件)となったが、「子育て・介護関係」「被災者支援・転入・転出手続関係」が合計で3.8%と低水準。コロナ禍の特例措置が終了し、介護認定申請等が伸びたため、成果指標は低下。					対 前年度 ☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (高)

指標	マイナンバーカードを取得している市民の割合 (%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	45.0	78.0	86.3	95.0	☀ (向上)
評価	マイナ保険証の運用開始に伴い、鈍化していた交付率も徐々に回復してきている。今後も運転免許証との一体化、スマホ格納の拡大も予定されており、指標への貢献が期待できる。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

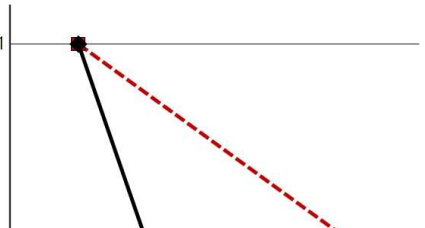
基本事業01 行政のデジタル化の推進

指標	国が示すオンライン化を推進すべき手続きのオンライン化達成率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	44.4	97.2	97.2	100.0	☀ (向上)
評価	昨年度と同様35/36手続で達成。(状況)引き続き、介護ワンストップにおける「居宅サービス計画作成依頼(変更)届出書」については、国が示す様式では情報不足のため市独自様式を採用しており電子申請を実施していない。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						III (高)

基本事業01 行政のデジタル化の推進

デジタル化により短縮した業務時間（累計）（時間）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値								
指標	【企画調整課】	-	1,375	6,019	23,000	☀ (向上)								
		(時間)				☀ (向上)								
評価	新たなデータ抽出8件（累計1,303時間短縮） 新たなR P A開発5件（累計2,409時間短縮） 文書管理システム更改=電子決裁の全庁導入（932時間短縮） R 6計4,644時間となる。 R5年度までの実績1,375時間に加算すると6,019時間となる。	<table><caption>実績値 (時間)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (時間)</th></tr></thead><tbody><tr><td>R05</td><td>1,375</td></tr><tr><td>R06</td><td>6,019</td></tr><tr><td>R08 (目標)</td><td>23,000</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (時間)	R05	1,375	R06	6,019	R08 (目標)	23,000	対 前年度 ☀ (向上)
	年度	実績値 (時間)												
R05	1,375													
R06	6,019													
R08 (目標)	23,000													
価						目 標 達成度 ■■ (中)								

基本事業01 行政のデジタル化の推進

令和6年度中に重大インシデント（インシデントが住民の生活や行政運用に重大な影響を与える場合）の発生はなし。		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値												
指標	重大インシデント発生回数（％）	1	0	0	0	☀ (向上)												
	【企画調整課】																	
評価	令和6年度中に重大インシデント（インシデントが住民の生活や行政運用に重大な影響を与える場合）の発生はなし。	<div>(%)</div>  <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>1</td></tr><tr><td>R05</td><td>0</td></tr><tr><td>R06</td><td>0</td></tr><tr><td>R07</td><td>0</td></tr><tr><td>R08</td><td>0</td></tr></tbody></table>				項目	値	基準	1	R05	0	R06	0	R07	0	R08	0	対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 🏰 (達成)
		項目	値															
基準	1																	
R05	0																	
R06	0																	
R07	0																	
R08	0																	

基本事業02 地域のデジタル化の促進

DX実践による地域課題解決件数（累計）（件）		基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値												
指標	【企画調整課】	-	1	6	10	☀ (向上)												
		(件)																
評価	以下5事業について「デジタル田園都市国家構想交付金」の交付申請を行い事業を実施した。 ・給食費管理システム導入事業 ・筑後市ドロース活用事業 ・らくらく窓口証明書交付サービス導入事業 ・公金収納のデジタル化事業 ・市公式ホームページDX事業	<table><caption>実績値データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>件数</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>-</td></tr><tr><td>R05</td><td>1</td></tr><tr><td>R06</td><td>6</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>10</td></tr></tbody></table>				年度	件数	基準	-	R05	1	R06	6	R07	-	R08	10	対 前年度
		年度	件数															
基準	-																	
R05	1																	
R06	6																	
R07	-																	
R08	10																	
						☀ (向上)												
						目 標 達成度												
						■■ (中)												

基本事業02 地域のデジタル化の促進

指標	市のＩＣＴサービスを利用している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
	【企画調整課】	58.9	68.4	70.2	80.0	☀ (向上)										
評価	昨年度と比して微増となった。 電子申請（130％）図書貸出（126％）マイナンバーカードを 使った申請（122％）の他、コンビニ交付（118％）、さんあー る（116％）と伸びている。また、令和6年度に導入した「行か ない・書かない・らくらく」「キャッシュレス」の利用者は計3 1名であった。	<div>(%)</div> <table><caption>ICTサービス利用市民割合の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>値 (％)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>58.9</td></tr><tr><td>R05</td><td>68.4</td></tr><tr><td>R06</td><td>70.2</td></tr><tr><td>R08 (目標)</td><td>80.0</td></tr></tbody></table>				年度	値 (％)	基準	58.9	R05	68.4	R06	70.2	R08 (目標)	80.0	対 前年度
						年度	値 (％)									
基準	58.9															
R05	68.4															
R06	70.2															
R08 (目標)	80.0															
						☁ (横ばい)										
						目 標 達 成 度										
						■■■ (高)										

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 03 積極的な広報・広聴の展開

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	目標	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	市政情報が、広報・広聴により適切に共有できていると思う市民の割合（％）	77.3	76.5	77.3	85.0	☁ (横ばい)
	【総務広報課】					
評価	(状況) 前年度比0.8ポイント微増、基準値に対しては同水準となったが、ほぼ横ばい (原因) 基幹ツールである市公式ホームページの分かりにくさや対象者に応じたツール選択が効果的でなかったこと等が成果の伸び悩みに繋がっているものと考えられる	(％) 				☁ (横ばい)
						目標 達成度 ■■■ (中)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 広報の充実

指標	行政からの情報がわかりやすく伝えられていると思う市民の割合（％） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		77.3	77.6	74.7	85.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度比2.9ポイント減。基準値に対しても2.6ポイント下回る。 (原因) 発信する対象者別に効果的なツールを選択できていなかった、また、「お知らせ」的な情報だけでなく、市の重要施策についての発信ができていなかった可能性が考えられる。	(％) 				対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 広報の充実

指標	パブリシティにより、新聞5紙に掲載された筑後市関連の記事件数（件） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		161	88	119	250	☂ (低下)
評価	(状況) 対基準値より42件減、対前年比より31件増 (原因) 70周年記念事業関連の情報発信により前年度から増加したものと考えられる。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 広聴の充実

指標	意見を行政に伝える機会に満足している市民の割合（％） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		77.2	75.4	79.8	85.0	☀ (向上)
評価	(状況) 対基準値より2.6ポイント増加。対前年度より4.4ポイント増加。 (原因) 意見提出のツールは前年度から増加していないが、その方法が広報紙などでの周知により市民に浸透したのではないかと考えられる。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業02 広聴の充実


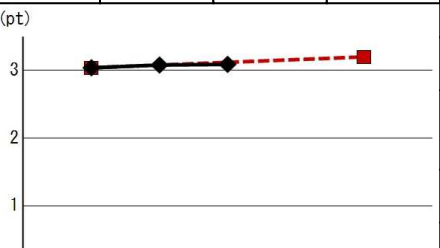


指標	広聴による年間の市民からの意見件数（件） 【総務広報課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		697	689	927	800	☀ (向上)
評価	(状況) 対基準値より230件増加。対前年比より238件増加。 (原因) パブリックコメントで大量の意見提出（221件）があったため。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 04 持続可能な行政経営

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	全施策の市民満足度平均（pt）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
	【企画調整課】	3.04	3.08	3.09	3.2	 (向上)										
評価	（状況）前年比0.01pt向上した。数値としては僅かであるが、個別では18本/28本、全体の64%の施策が満足度が向上している。 （原因）明確な要因は不明。	 <p>(pt)</p> <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value (pt)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準 (R03)</td><td>3.04</td></tr><tr><td>R05</td><td>3.08</td></tr><tr><td>R06</td><td>3.09</td></tr><tr><td>R08 (目標)</td><td>3.2</td></tr></tbody></table>				Year	Value (pt)	基準 (R03)	3.04	R05	3.08	R06	3.09	R08 (目標)	3.2	対 前年度
						Year	Value (pt)									
基準 (R03)	3.04															
R05	3.08															
R06	3.09															
R08 (目標)	3.2															
						 (横ばい)										
						目 標 達成度										
						 (中)										

指標	総合計画（重点基本事業）の成果指標向上割合（対基準値）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値										
	【企画調整課】	74.1	50	66.7	85.0	(---)										
評価	（状況） 24成果指標（重点基本事業）の内、16成果指標（重点基本事業）が対基準値で向上している。 （原因） 高齢者福祉、地域福祉などの指標の低下がみられるとともに、基準値がすでに高い割合（90％超）のため基準値を上回れない指標が複数ある。	<div>(%)</div> <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準 (R03)</td><td>74.1</td></tr><tr><td>R05</td><td>50</td></tr><tr><td>R06</td><td>66.7</td></tr><tr><td>R08 (目標)</td><td>85.0</td></tr></tbody></table>				Year	Value (%)	基準 (R03)	74.1	R05	50	R06	66.7	R08 (目標)	85.0	対 前年度
						Year	Value (%)									
基準 (R03)	74.1															
R05	50															
R06	66.7															
R08 (目標)	85.0															
						(---)										
						目 標 達成度										
						(---)										

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	P D C Aサイクルのための取組平均実践項目数（監督職以上）（6項目中）（項目）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2.4	2.7	2.6	3.6	☁ (横ばい)
評価	(状況) 数値は横ばい (原因) 昨年同様、マンパワー不足が一因。予算編成時期が早いため十分なcheck、actionの時間が確保できていない面もある。	(項目) 				対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	人事評価における改善実践力の平均点（5点満点）（点）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	3.01	3.01	3.05	3.3	☀ (向上)
評価	(状況) 微増。 (原因) 行政経営システムの入力等の機会を通じて、職員1人ひとりが主体的に業務改善に取り組める環境が定着してきている。一方で、与えられた業務をこなすのみという認識の職員も一定数いることから全体的な数値としては大きく増減しない。	(点) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業01 PDCAサイクルの実践

指標	事務事業の成果指標向上割合（対基準値）（%）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	46.1	42.1	44.6	52.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 通常評価事業の186成果指標のうち、向上した指標が83、低下した指標が80、変化なし等が23となっている。 (原因) 参加者等を指標としているものは、依然としてコロナ禍前まで回復していないが、向上した指標は約7割が前年度に続き向上しており、PDCAサイクルが機能している。	(%) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	転入者数（外国人含む）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2,012	2,365	2,232	2,400	☀ (向上)
評価	(状況) 転入者は前年度と比較して減少した。（133人） (原因) 日本人が転出超過（20人）となっている。都市部に人が集中する一方で、近隣自治体間での人の奪い合いの様相を呈していることが要因。	(人) 				対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	転出者数（外国人含む）（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2,056	2,168	2,189	2,300	☂ (低下)
評価	(状況) 転出者は前年度と比較して増加した(21人)。 (原因) 日本人の転出者の増加。転出超過(20人)となっている。都市部への人の集中及び近隣自治体間での人の奪い合いが要因。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (達成)

基本事業02 転入の促進と転出の抑制

指標	居注意欲度の県内順位（位）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	9	9	12	6	☂ (低下)
評価	(状況) 全国順位は392位から416位となった。 (原因) 順位の基準となる点数は、5.9点となり、前年度比+0.1ポイントとなっているため他自治体のポイントが筑後市以上に上昇したことで相対的に順位が低下したと思われる。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (低)

基本事業03 広域連携の推進

指標	広域行政（連携）によって効率的かつ効果的にまちづくりが進められていると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	30.6	32.8	33.1	40.0	☀ (向上)
評価	(状況) 前年度より0.3pt増。職種：事務消防職が9.5pt増。年代：30歳代が2.3pt、50歳代が0.8pt増。 役職：管理職は5.6pt増。 (原因) 消防が2年連続で大幅に増加。他の職種と比較して、近隣自治体との共同運用等による効果を感じていることが原因と推測される。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ☁ (中)

基本事業03 広域連携の推進


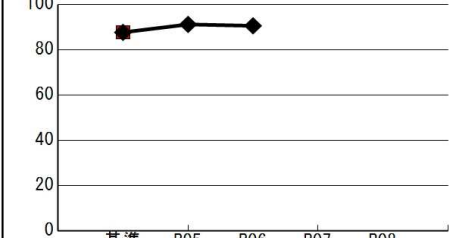


指標	本市を含む地方公共団体の組合等で共同処理されている事務事業件数（件）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	15	15	15	15	☁ (横ばい)
評価	(状況) 変化なし					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ☁ (達成)


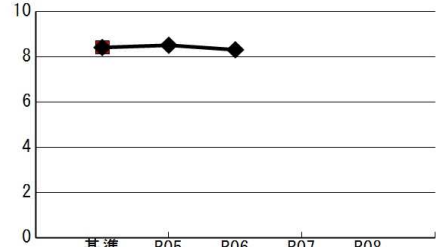


政策 07 持続可能なまちづくり


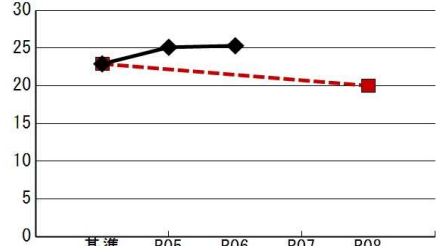


施策 05 持続可能な財政運営


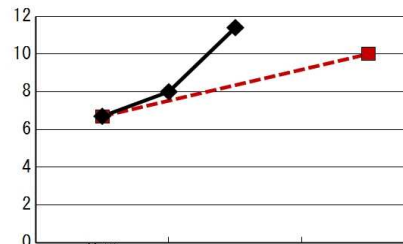


あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	経常収支比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【財政課】	87.6	91.1	90.5	92.0以下	 (低下)												
評価	（状況）前年度に比べ0.6ポイント改善し、目標を達成できた。 （原因）経常支出、経常収入ともに増加したが、収入増加が上回ったため、結果的に改善となった。削減が困難な扶助費などの経常支出が増加しており、財政の柔軟性は極小化してきている。	 <p>(%)</p> <table><thead><tr><th>Year</th><th>Value (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>87.6</td></tr><tr><td>R05</td><td>91.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>90.5</td></tr><tr><td>R07</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td>92.0以下</td></tr></tbody></table>				Year	Value (%)	基準	87.6	R05	91.1	R06	90.5	R07		R08	92.0以下	対 前年度
						Year	Value (%)											
基準	87.6																	
R05	91.1																	
R06	90.5																	
R07																		
R08	92.0以下																	
						 (横ばい)												
						目 標 達成度												
						 (達成)												

指標	実質公債費比率（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値												
		8.4	8.5	8.3	9.0以下	 (横ばい)												
評価	【財政課】 (状況) 前年度に比べ0.2ポイント改善し8.3%となった。 (原因) 令和6年度単年度の値は7.8%で令和5年度から改善したものの、要因は標準財政規模の増加等によるものであり、償還負担は横ばいの状況。今後の増加に留意する必要がある。	 <p>(%)</p> <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>8.4</td></tr><tr><td>R05</td><td>8.5</td></tr><tr><td>R06</td><td>8.3</td></tr><tr><td>R07</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td>9.0以下</td></tr></tbody></table>				年度	値 (%)	基準	8.4	R05	8.5	R06	8.3	R07		R08	9.0以下	対 前年度
						年度	値 (%)											
基準	8.4																	
R05	8.5																	
R06	8.3																	
R07																		
R08	9.0以下																	
						 (横ばい)												
						目 標 達成度												
						 (達成)												

指標	財政調整基金残高（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値												
	【財政課】	22.9	25.1	25.3	20.0	 (向上)												
評価	（状況）前年度から2千万円増加した。 （原因）基金の取り崩しは行っていない。債券運用等に係る利子収入について積み立てを行った。この結果、残高が若干増加となった。	 <p>(億円)</p> <table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>値 (億円)</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準 (R03)</td><td>22.9</td></tr><tr><td>R05</td><td>25.1</td></tr><tr><td>R06</td><td>25.3</td></tr><tr><td>R07</td><td>-</td></tr><tr><td>R08</td><td>20.0</td></tr></tbody></table>				項目	値 (億円)	基準 (R03)	22.9	R05	25.1	R06	25.3	R07	-	R08	20.0	対 前年度
						項目	値 (億円)											
基準 (R03)	22.9																	
R05	25.1																	
R06	25.3																	
R07	-																	
R08	20.0																	
						 (横ばい)												
						目 標 達成度												
						 (達成)												

指標	市の行政運営や税金の使い方に納得していない市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【財政課】	6.7	8.0	11.4	10.0	 (低下)
評価	(状況) 前年度から2.5pt低下し、目標を達成できなかった。 (原因) 回答総数、概ね納得できる人の数が減少する中、納得できない人が増加。その理由の記述を見る限り、庁舎建設など、大型事業の実施に対する意見など、例年との差異はなく、物価高騰など、社会全体の負担感増が影響したと思われる。					対 前年度
						 (低下)
						目 標 達成度
						 (低)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 税収等による財源確保

指標	市税収納率[現年度分](%)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		99.2	99.1	99.17	99.0	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度並み。 (原因) 物価上昇による経済状況は厳しいが、収納率には特段影響が見られていない。しかし、今後も適正徴収に努め収納率を維持向上する必要がある。	(%) 				対 前年度 ☁ (横ばい) 目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業01 税収等による財源確保

指標	ふるさと納税寄付額(億円)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		4.0	4.1	4.4	7.0	☁ (横ばい)
評価	(状況) R5年度比 15%の4.1億円からR6年度比7.8%増の4.4億円となった。 (原因) 既存返礼品の容量の多様化や定期便の新設を行ったが、寄付額の増加には繋がらなかった。しかし、ポータルサイトの増設や、現地決済型を追加したことで寄附額増となった。	(億円) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ■■ (中)

基本事業01 税収等による財源確保

指標	資金運用による収益額(千円)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		16,314	24,094	35,501	20,000	☀ (向上)
評価	(状況) 計画達成 債券運用額は、合計 38億円であり、令和6年度の運用収益(利子収入)は、35,501,124円となった。 (原因) 利率の高いものへの債券の入れ替えを行った。また、債券の入れ替えに伴う債券売却益が、7,207千円生じたため。	(千円) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	基礎的財政収支(億円)	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		+5.8	-14.5	+3.5	±0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は再編新設小学校整備事業が落ち着き地方債借入額も減少したため、基礎的財政収支は3.5億のプラスとなった。 (原因) 投資活動収支のマイナスを財務活動支出の圧縮で対応していることを意味し、プラス幅が増加しすぎないようバランスをとっていく必要がある。	(億円) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ■■ (中)

基本事業02 計画的な財政運営

指標	実質収支比率（％） 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		15.5	14.4	14.3	3.0以上	☂ (低下)
評価	(状況) 昨年度に比べ0.1pt低くなった。 (原因) 市税の増加など歳入増の要因と、歳出の執行率低下の要因、双方が重なり、単年度でマイナスを目指したが、単年度でもプラスとなった。物価高騰などで標準財政規模(分母)も増加したため、指標としては若干低くなる結果となった。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	2026（令和8）年度までの施設(ハコモノ)の削減率（％） 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		3.4	5.9	8.4	10.0	☀ (向上)
評価	(状況) 対前年度比2.5ポイント増の8.4%となった。 (原因) 筑後南小学校建設に伴い、水田コミュニティセンター(1,092㎡)を除却した。令和6年度中着手した水田小学校(4,845㎡)の除却完了は令和7年4月のため、令和7年度実績とする予定。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ■■ (中)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	建物更新計画策定率（％） 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		83.9	78.9	81.6	100.0	☂ (低下)
評価	(状況) 対前年度比2.7ポイント増の81.6%となった。 (原因) 新たにシルバーワークプラザの計画が完了。策定完了施設数/対象施設数は31/38となった。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 ■■ (中)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

指標	公共建築物長寿命化計画に基づく(中・大規模)改修達成率（％） 【財政課】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		100.0	89	100	80.0	☀ (向上)
評価	(状況) 公マネ委員会で認定した事業8件のうち、7件を予算化。予算化に至らなかった1件は担当課都合により予算要求が取り下げられたもの。 (原因) 予算化に至らなかった1件は玄ヶ野団地の移転補償費。建替方針がPFI方式に変更されたことで事業スケジュールに変更が生じ、予算が不要となったもの。	(％) 				対 前年度 ☀ (向上) 目標 達成度 🏰 (達成)

基本事業03 公共施設等のマネジメント推進

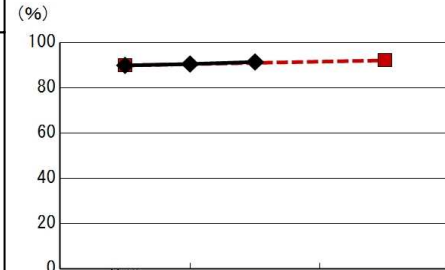
指標	庁舎建設基金残高（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【庁舎建設推進室】	18	29	36	29	☀ (向上)
評価	（状況）令和6年度に712,343,839円の積立てを実施。基金残高は3,637,139,518円となった。 （原因）単年度収支黒字の処分の一環として、当初予定していた1億円に6億円を追加積み立てたことによる。	(億円) 				対 前年度 ☀ (向上)
		目標達成度 				(達成)

政策 07 持続可能なまちづくり

施策 06 市民から信頼される職員・組織づくり

あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	職員の仕事ぶりに満足している市民の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	89.8	90.4	91.3	92.0	☀ (向上)
評価	前年比0.9%上昇。概ね9割程度で推移している。不満と回答した理由として、一部の職員の接遇や対応に対する意見があった。また、行政サービスのDX化等によるサービスの利便性の向上を求める意見もあった。	(％) 				☀ (向上)
						目標 達成度 ■■■ (高)

基本事業の成果状況と評価

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	市の組織は効率的かつ機能的になっていると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	79.7	72.7	73.1	82.0	(横ばい)
評価	前年度から横ばい、目標値より低い状況にとどまった。そう思わないと回答したものの中には、人員不足に対する意見もあり、これが結果に一定の影響を及ぼしていると思われるが、コロナ禍のR3の数値が良かったことを踏まえれば、複合的な要因があるのではと推察する。正確な要因分析は難しい。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達 成 度
						(低)

基本事業01 効率的かつ機能的な組織づくり

指標	人口1万人当たり職員数（類似団体の平均値に対する割合）（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	64.6	65.7	65.0	64.5	(低下)
評価	基準値から0.4ポイント下回っているものの、前年度比は0.7ポイント改善。重点事業への重点配分など、最適な体制を検討し人員配置を行った。時間外対策・育休代替を一部正規職員で行うなどの増加要素もあったが、全国平均の職員数自体が増えているため、結果、市の数値は改善している。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(中)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	人材育成（諸施策）により職員の能力が向上していると思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	63.3	54.9	56.1	68.0	(低下)
評価	前年度から1.2ポイント上昇したものの、基準値からは大きく下回る結果となった。思わないと回答した意見の中には、一部の職員の態度・行動に対するものや時間的余裕がないといった意見が見られ、回答に一定の影響を与えていると推察する。					対 前年度
						(向上)
						目 標 達 成 度
						(低)

基本事業02 効果的な人材育成と適正な人事管理

指標	職員全体の待遇が適切だと思う職員の割合（％）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【市長公室】	84.8	82.2	80.7	95.0	(低下)
評価	前年度比1.5%悪化。待遇ができていないと思うと回答した理由に、あいさつができない職員がいるといった意見が多く見られた。このような一部の職員の態度・対応が結果に影響したものと思料する。					対 前年度
						(低下)
						目 標 達 成 度
						(低)

基本事業03 健康で安心して働ける職場づくり

指標	年次有給休暇（5日未満）・超過勤務（月45時間・年360時間超）・公務災害に該当した職員数（人） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		347	173	128	150	☀ (向上)
評価	年休取得5日未満：11人 時間外月45時間超：96人 時間外年360時間超：18人 公務災害：3人 所属長を通じた勧奨等により、年休取得5日未満の職員数や長時間労働者数は前年に比べ減少。公務災害件数についても減少したが、転倒事故や虫刺され等が発生した。 合計値は計画目標を達成。	(人) 				(向上) 対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業03 健康で安心して働ける職場づくり

指標	法令遵守が徹底されている職場になっていると思う職員割合（％） 【市長公室】	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		87.9	88.5	89	95.0	☀ (向上)
評価	そう思わない職員の全体割合は10.9％であり、前年と横ばい。ただし、消防本部に限ると21.4％と全体より割合が高く複数年にわたって同様の傾向にある。引き続き、要因の特定及び改善を図る必要がある	(％) 				(向上) 対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (低)

政策 08 政策の総合推進

施策 01 会計関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 02 議会関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 03 監査関係業務

あるべき姿

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 04 選挙関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 05 契約・管財関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価


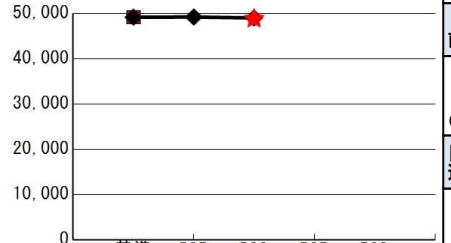


基本事業の成果状況と評価


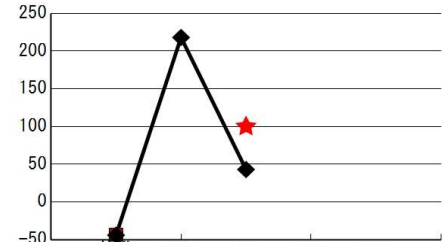


政策 08 政策の総合推進

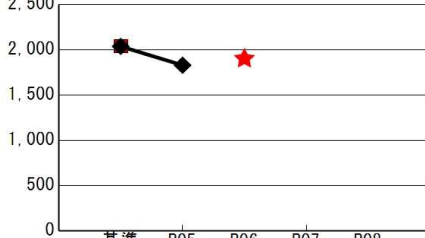
施策 06 統計関係業務


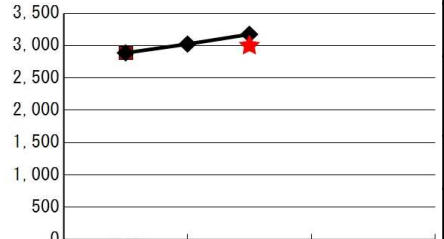



あるべき姿

施策の成果状況と評価

指標	本市の人口（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
		49,150	49,181	48,972		 (横ばい)
評価	住民基本台帳（3月31日現在）	(人)				対 前年度
	（状況）前年度49,181人から209人減少 （原因）自然減が 252人（出生332人、死亡584人、昨年度 234人）となったことが大きな要因である。					 (低下) 目 標 達 成 度  (高)

指標	社会人口増減数（人）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値											
	【企画調整課】	-44	218	43		 (向上)											
評価	住民基本台帳	(人)															
	<p>（状況）R5年度の+218人からは175人減少したが3年連続の増（+43人）となった。</p> <p>（原因）日本人は減少したものの（279人）、入国者が増加（+127人）したことが主な要因</p>	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>基準</td><td>-44</td></tr><tr><td>R05</td><td>218</td></tr><tr><td>R06</td><td>43</td></tr><tr><td>R07</td><td></td></tr><tr><td>R08</td><td></td></tr></tbody></table> <div>対前年度  (低下)</div> <div>目標達成度  (達成)</div>					年度	値	基準	-44	R05	218	R06	43	R07		R08
年度	値																
基準	-44																
R05	218																
R06	43																
R07																	
R08																	

指標	市内総生産額（億円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2,035	1,827			
評 価	福岡県市町村要覧（市町村民経済計算）	(億円)				(---)
	（状況）数値は現時点では未公表 （原因）					対 前年度
						(---)
						目 標 達成度
						(---)

指標	納税者 1 人当たり所得（千円）	基準値 (R03)	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R08)	対 基準値
	【企画調整課】	2,888	3,024	3,175		 (向上)
評価	総務省「市町村税課税状況等の調」	(千円)				対 前年度
	(状況) 増加している (原因) 景気回復。					 (向上)  目 標 達成度  (達成)

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 07 市民課窓口関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 08 秘書関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 09 総務関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価

政策 08 政策の総合推進

施策 10 財政関係業務

あるべき姿

--

施策の成果状況と評価

基本事業の成果状況と評価